

第4次平生町男女共同参画プラン住民意識・実態調査結果報告書

1. 調査の目的

平生町では、「第五次平生町総合計画」や「平生町男女共同参画プラン」に基づき、性別にかかわらず、町民の一人ひとりが個性と能力を十分に発揮し、共に責任を分かち合うことのできる男女共同参画社会の実現を目指した取組みを進めているところです。

この取組を一層推進するため、平生町男女共同参画プランの見直しの時期にあわせて、町民の男女共同参画に関する考えを把握するための調査を実施したものです。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

令和3年7月末時点で平生町住民基本台帳に登録のある18歳以上の住民(10,089人)

(2) 調査数

1,097件

(層化無作為抽出、調査票配布数1,100件、不達数3件)

不達理由…本人不在

(3) 調査方法

郵送による配付回収

(4) 調査期間

令和3年9月15日～令和3年10月1日

(5) 調査票回収数

418件

(6) 回答率

38.1%(前回35.1%)

(7) 調査票

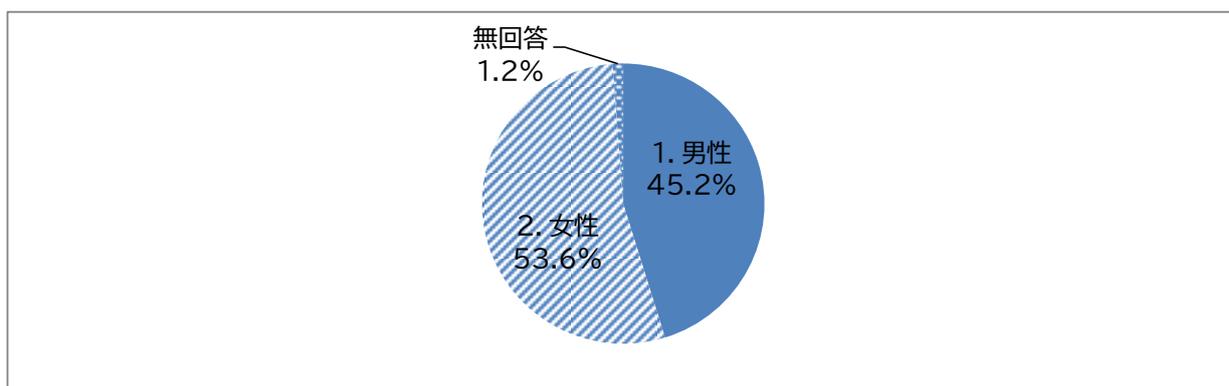
別紙のとおり

3. 集計結果

F1 あなたの性別は。(○はひとつだけ)

・性別についてみると「男性」45.2%、「女性」が53.6%となっています。

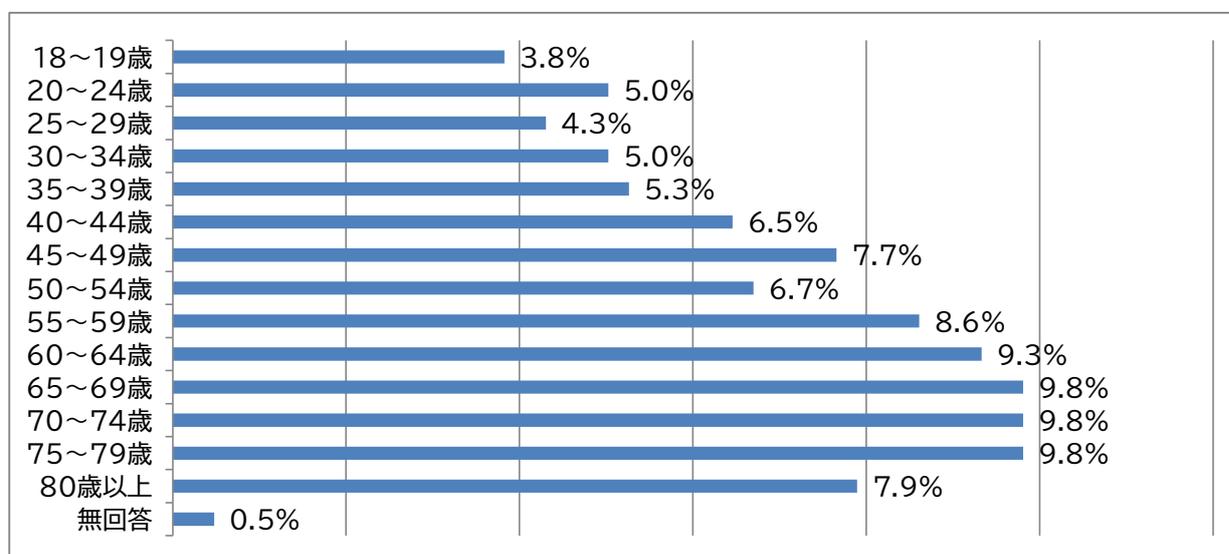
1. 男性	189
2. 女性	224
無回答	5



F2 あなたの年齢は満でおいくつですか。(○はひとつだけ)

・年齢についてみると、「65～69歳」「70～74歳」「75～79歳」が9.8%と最も割合が高く、「18～19歳」が3.8%と最も低いです。

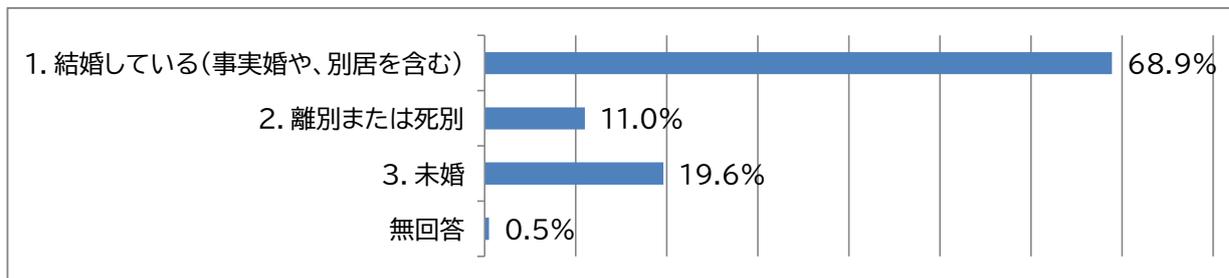
18～19歳	16
20～24歳	21
25～29歳	18
30～34歳	21
35～39歳	22
40～44歳	27
45～49歳	32
50～54歳	28
55～59歳	36
60～64歳	39
65～69歳	41
70～74歳	41
75～79歳	41
80歳以上	33
無回答	2



F3 あなたは結婚していますか。(○はひとつだけ)

・「結婚している」が68.9%と最も割合が高くなっている。以下、「未婚」19.6%、「離別または死別」11.0%と続いています。

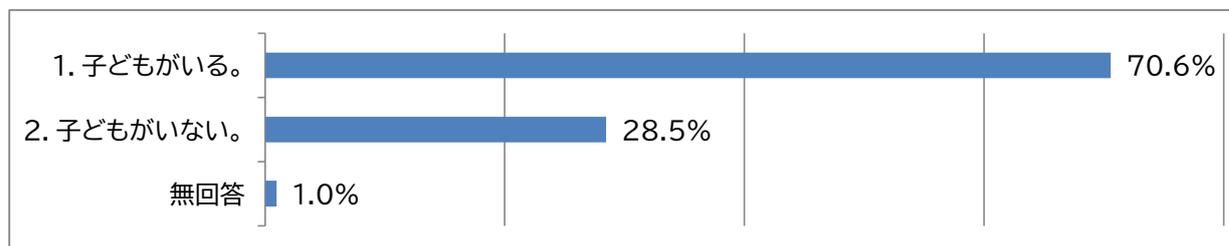
1. 結婚している(事実婚や、別居を含む)	288
2. 離別または死別	46
3. 未婚	82
無回答	2



F4 子どもはいますか。(○はひとつだけ)

「子どもがいる」が70.6%、「子どもがいない」が28.5%となっています。

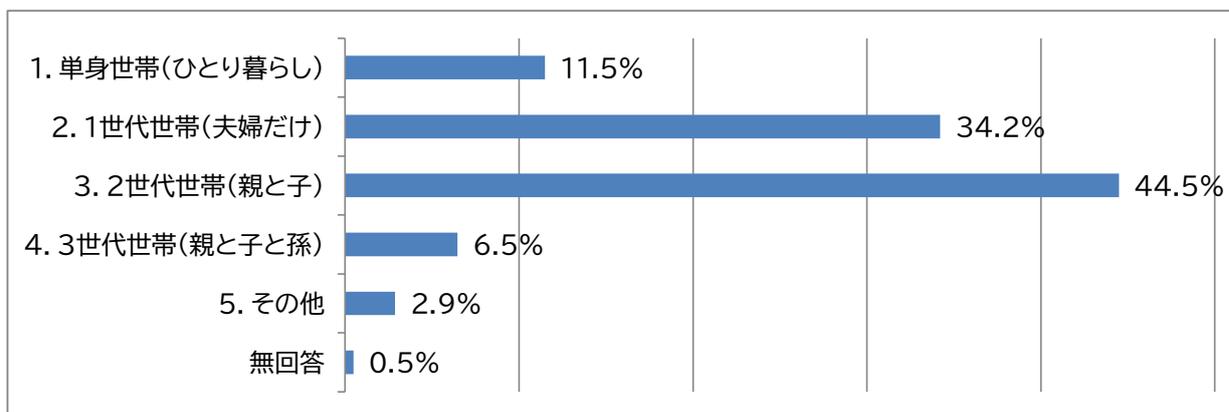
1. 子どもがいる。	295
2. 子どもがいない。	119
無回答	4



F5 あなたの世帯構成はどれですか。

・「2世代世帯」が44.5%と最も多く、次いで「1世代世帯」34.2%、「単身世帯」11.5%となっています。概ね前回調査と同じ比率となっています。

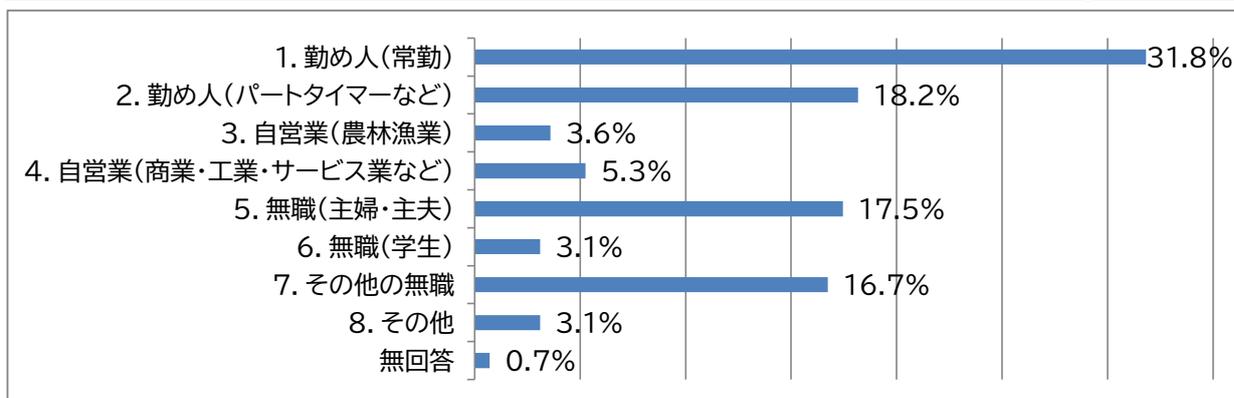
1. 単身世帯(ひとり暮らし)	48
2. 1世代世帯(夫婦だけ)	143
3. 2世代世帯(親と子)	186
4. 3世代世帯(親と子と孫)	27
5. その他	12
無回答	2



F6 あなたのお仕事を教えてください。
2つ以上おもちの方は、主なものをひとつお答えください

・「勤め人(常勤)」が31.8%と最も割合が高く、続いて「勤め人(パートタイマーなど)」が18.2%、「無職(主婦・主夫)」が17.5%となっています。

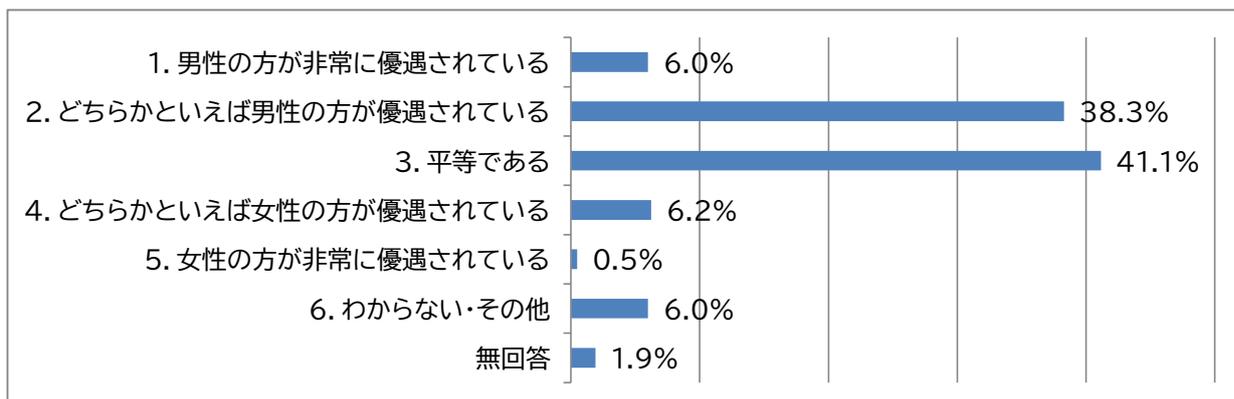
1. 勤め人(常勤)	133
2. 勤め人(パートタイマーなど)	76
3. 自営業(農林漁業)	15
4. 自営業(商業・工業・サービス業など)	22
5. 無職(主婦・主夫)	73
6. 無職(学生)	13
7. その他の無職	70
8. その他	13
無回答	3



問1 あなたは、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか
アからクの各項目について、1から6の中であなたの気持ちに最も近いものを選んでください。また、
不平等を感じたことがある方、「6わからない・その他」を選ばれた方は、差支えなければ下の欄に具体的
にご記入をお願いします。

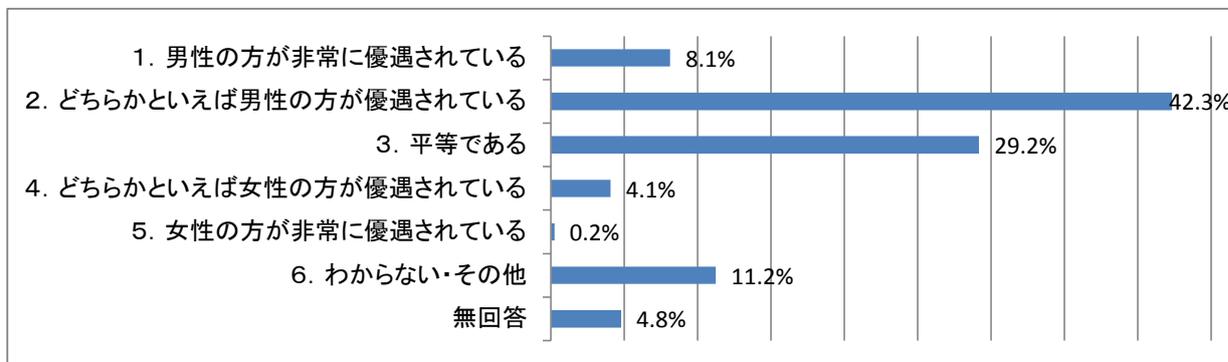
・「平等である」が41.1%、続いて「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が38.3%となっ
ています。

ア 家庭生活の中で	
1. 男性の方が非常に優遇されている	25
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	160
3. 平等である	172
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	26
5. 女性の方が非常に優遇されている	2
6. わからない・その他	25
無回答	8



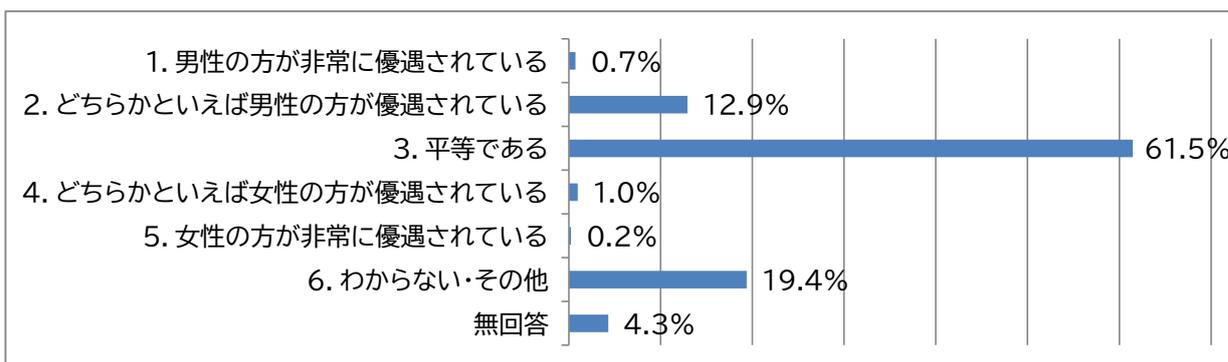
・「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が42.3%、続いて「平等である」が29.2%となっています。

イ 就職の機会や職場の中で	
1. 男性の方が非常に優遇されている	34
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	177
3. 平等である	122
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	17
5. 女性の方が非常に優遇されている	1
6. わからない・その他	47
無回答	20



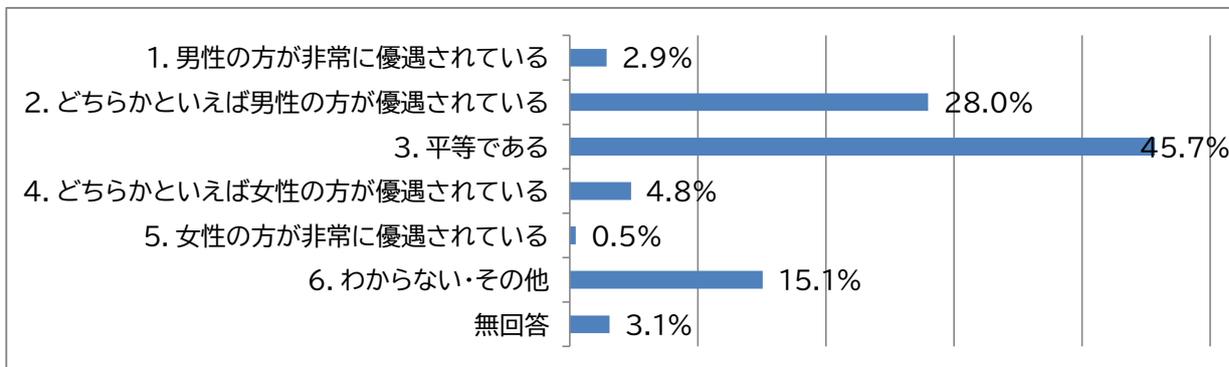
・「平等である」が61.5%と高く、「わからない・その他」に次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が12.9%と続いています。

ウ 学校教育の場で	
1. 男性の方が非常に優遇されている	3
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	54
3. 平等である	257
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	4
5. 女性の方が非常に優遇されている	1
6. わからない・その他	81
無回答	18



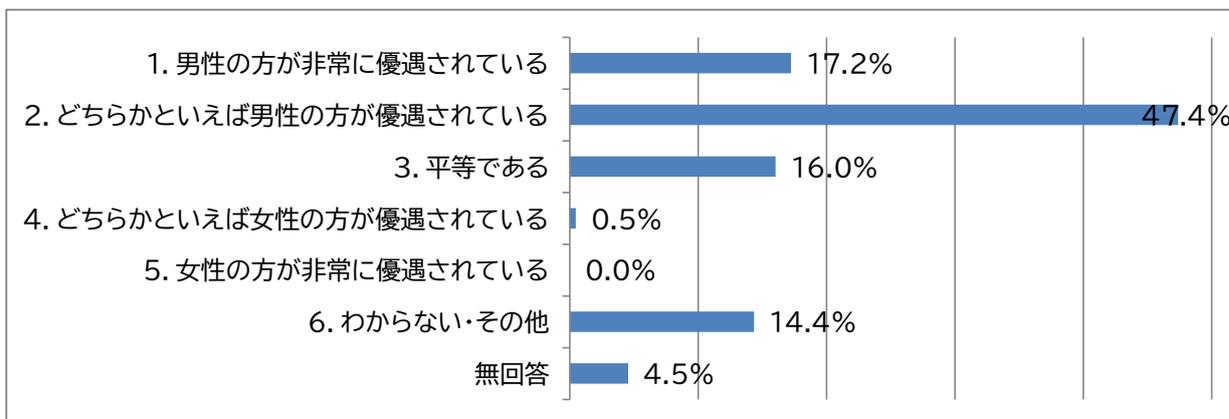
・「平等である」が45.7%と高く、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が28.0%と続いています。

工 地域活動の場で	
1. 男性の方が非常に優遇されている	12
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	117
3. 平等である	191
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	20
5. 女性の方が非常に優遇されている	2
6. わからない・その他	63
無回答	13



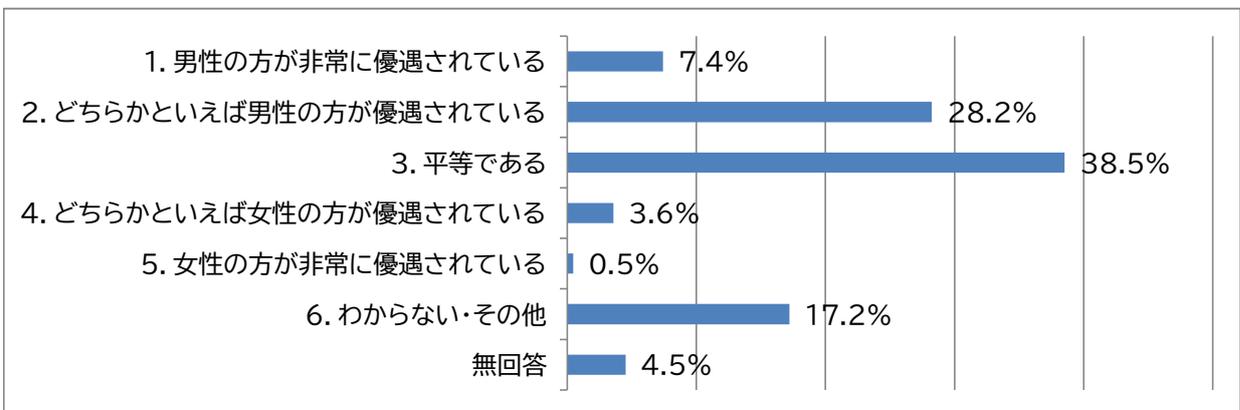
・「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が47.4%、「男性の方が非常に優遇されている」が17.2%と、合わせて男性のほうに優遇されていると考えている人が過半数を超えています。

オ 政治経済活動の中で	
1. 男性の方が非常に優遇されている	72
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	198
3. 平等である	67
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	2
5. 女性の方が非常に優遇されている	0
6. わからない・その他	60
無回答	19



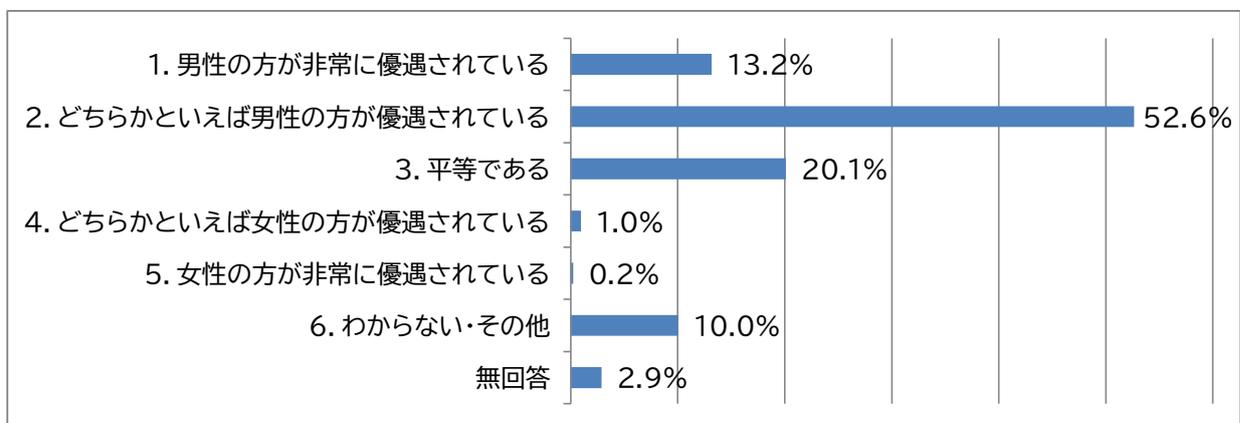
・「平等である」が38.5%、続いて「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が28.2%となっています。

カ 法律や制度の面で	
1. 男性の方が非常に優遇されている	31
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	118
3. 平等である	161
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	15
5. 女性の方が非常に優遇されている	2
6. わからない・その他	72
無回答	19



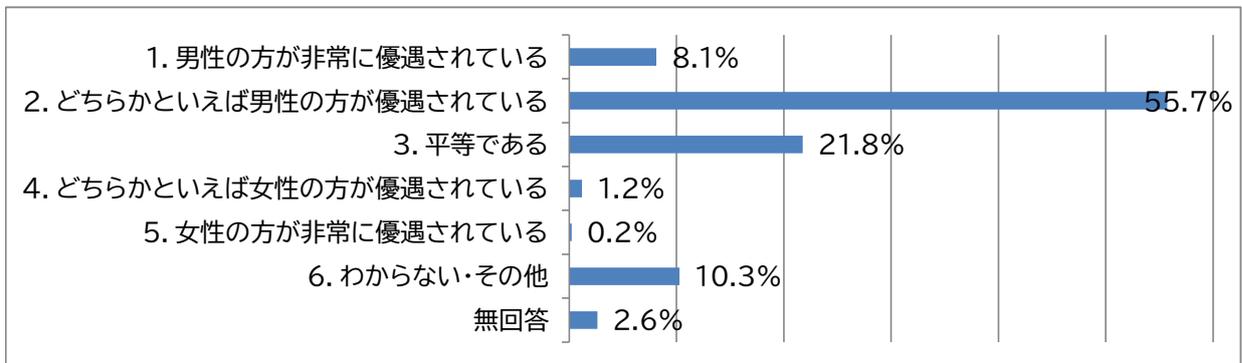
・「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が52.6%、「平等である」が20.1%、「男性の方が非常に優遇されている」が13.2%と続いています。

キ 社会通念・慣習・しきたりなどで	
1. 男性の方が非常に優遇されている	55
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	220
3. 平等である	84
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	4
5. 女性の方が非常に優遇されている	1
6. わからない・その他	42
無回答	12



・「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が55.7%、続いて「平等である」が21.8%となっています。

ク 社会全体として	
1. 男性の方が非常に優遇されている	34
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	233
3. 平等である	91
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている	5
5. 女性の方が非常に優遇されている	1
6. わからない・その他	43
無回答	11



不平等を感じたことがある方、問1で「わからない・その他」を選ばれた方の主な意見

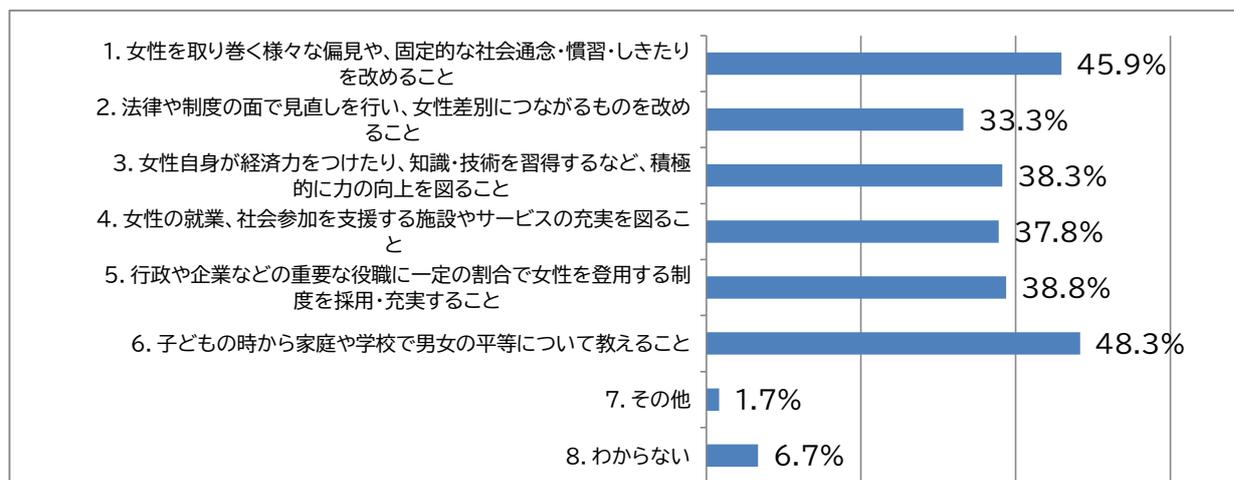
産休制度がありながら、実際家庭を持ちながら、まっとうな給料をもらっての仕事が続けられない。
女性の首相は見たことがないし、聞いたこともない。また、未だに女性議員に対して批判の言葉を普通にかける男性議員がいる。しかも、政治が行われる国会で。そういう場でも平気に言える環境なんだ、まだまだ女性に対する差別は多いと思う。特に年長者に。
昔よりは平等になったと思いますが、まだ社会の中では男性の方が優遇されていると思う(仕事をする上ではなおさら)
気を使うことのない生活の場においては男女の別を思うことが少ない時代となったように思う。
父子家庭より母子家庭の方が優遇されていると思える。
私たちの世代では、一般に男は仕事中心で家庭のことは女性中心でした。実際に世界と競争していく世の中では、男性の仕事も厳しいし家のこともとなると余力がないのでは。難しい問題であると思う。
(職場や地域で)40代後半以降の男性は「お茶出し、下げ、片付」などは女性がするものという考え方があるように感じます。
社会全体では平等であるが、地域しきたりではまだ女性は口出しできないと思う。
家庭内では主人の親の家に行って、病院や買い物はすべて長男の嫁が世話をしなければならない。主人は家のこともいっさいしない。
男の方が給料高い等。
政治家の数。
給料、手当、就職先。
仕事や社会的立場など。

問2 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるためには、何が重要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

・「子どもの時から家庭や学校で男女の平等について教えること」が48.3%で最も高く、続いて「女性を取り巻く様々な偏見や、固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること」が45.9%となっています。

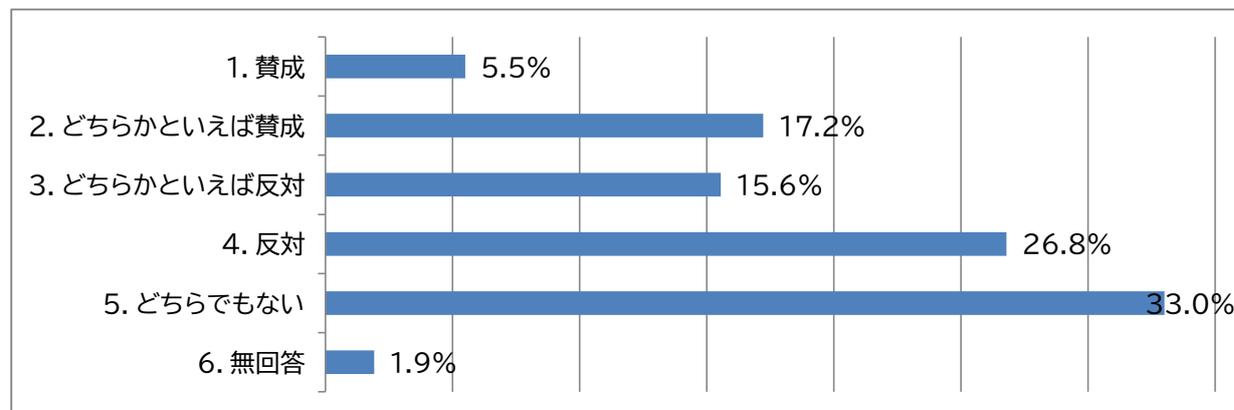
1. 女性を取り巻く様々な偏見や、固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めること	192
2. 法律や制度の面で見直しを行い、女性差別につながるものを改めること	139
3. 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること	160
4. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	158
5. 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	162
6. 子どもの時から家庭や学校で男女の平等について教えること	202
7. その他	7
8. わからない	28



問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

・「どちらでもない」が33.0%と最も高く、続いて「反対」が26.8%と続いています。

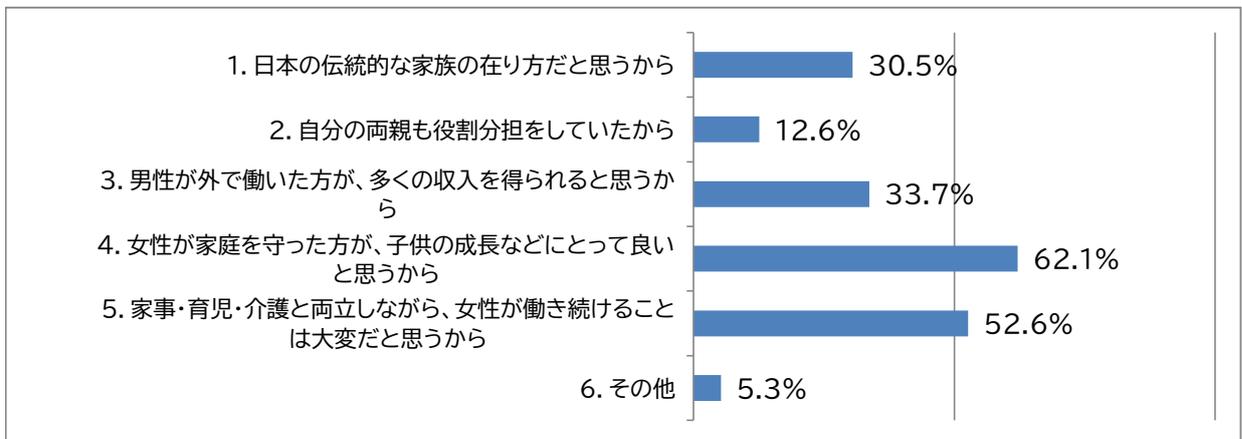
1. 賛成	23
2. どちらかといえば賛成	72
3. どちらかといえば反対	65
4. 反対	112
5. どちらでもない	138
6. 無回答	8



問4 問3で「1 賛成」「2 どちらかといえば賛成」と答えた方にお聞きします。なぜそう思いましたか。(〇はいくつでも)

・「女性が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから」が62.1%と最も多く、次いで、「家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから」が52.6%となっています。

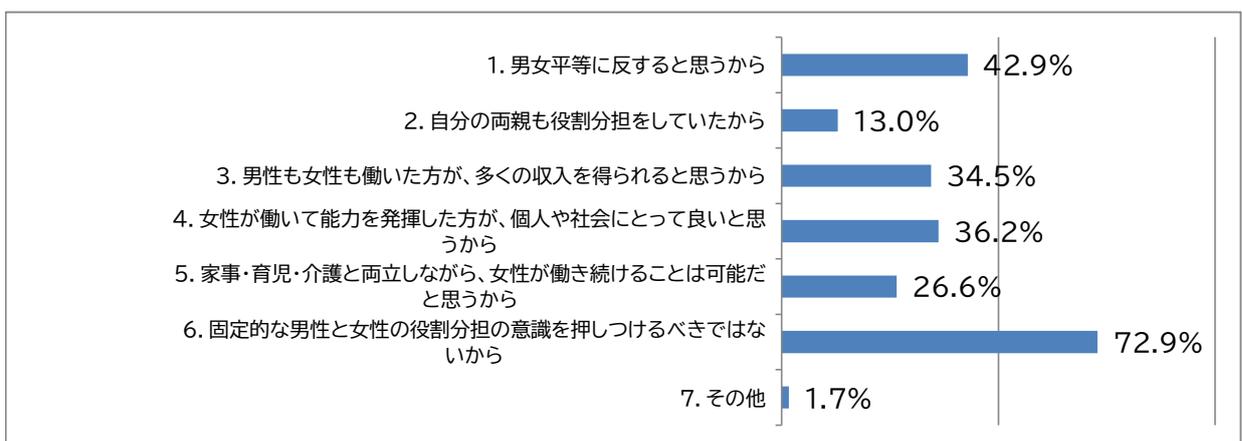
1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	29
2. 自分の両親も役割分担をしていたから	12
3. 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	32
4. 女性が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから	59
5. 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから	50
6. その他	5



問5 問3で「3 どちらかといえば反対」「4 反対」と答えた方にお聞きします。なぜそう思いましたか。(〇はいくつでも)

・「固定的な男性と女性の役割分担の意識を押しつけるべきではないから」が72.9%と最も高く、次いで「男女平等に反すると思うから」が42.9%、「女性が働いて能力を發揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから」が36.2%の順に多いです。

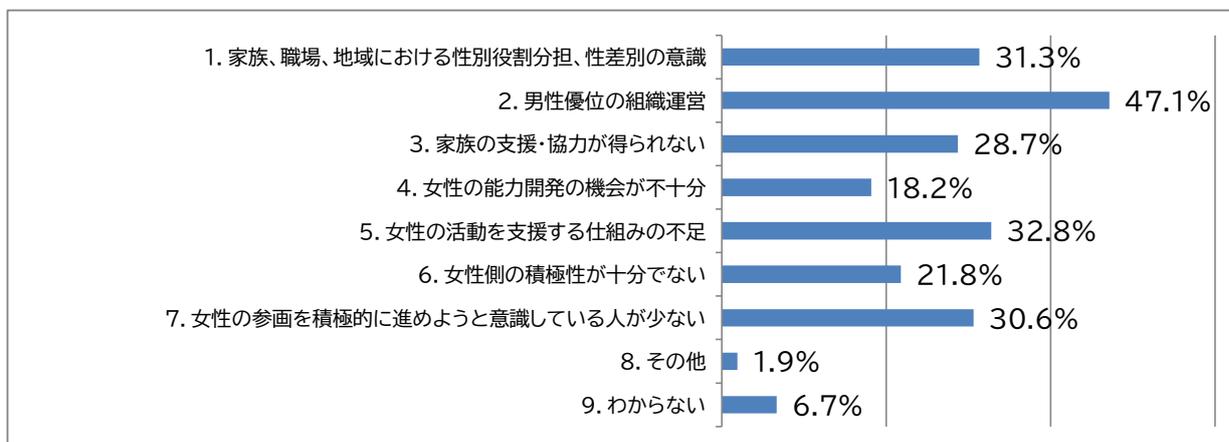
1. 男女平等に反すると思うから	76
2. 自分の両親も役割分担をしていたから	23
3. 男性も女性も働いた方が、多くの収入を得られると思うから	61
4. 女性が働いて能力を發揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	64
5. 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは可能だと思うから	47
6. 固定的な男性と女性の役割分担の意識を押しつけるべきではないから	129
7. その他	3



問6 社会の中で意思決定の場に女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

・「男性優位の組織運営」が47.1%と最も高く、続いて「女性の活動を支援する仕組みの不足」が32.8%、「家族、職場、地域における性別役割分担、性差別の意識」が31.3%と続いています。

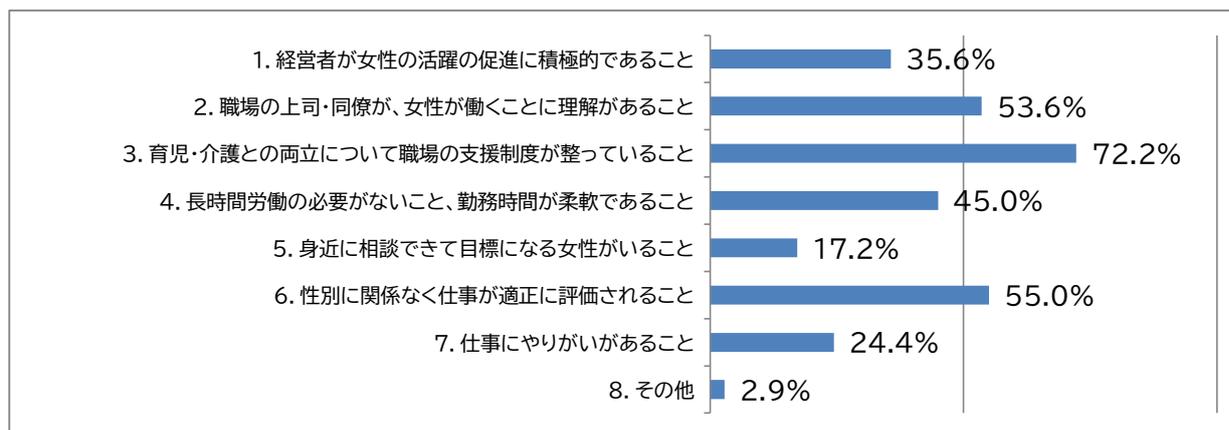
1. 家族、職場、地域における性別役割分担、性差別の意識	131
2. 男性優位の組織運営	197
3. 家族の支援・協力が得られない	120
4. 女性の能力開発の機会が不十分	76
5. 女性の活動を支援する仕組みの不足	137
6. 女性側の積極性が十分でない	91
7. 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない	128
8. その他	8
9. わからない	28



問7 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

・「育児・介護との両立について職場の支援制度が整っていること」が72.2%と最も高く、続いて「性別に関係なく仕事が適正に評価されること」が55.0%、「職場の上司・同僚が、女性が働くことに理解があること」が53.6%、「長時間労働の必要がないこと、勤務時間が柔軟であること」が45.0%と続いています。

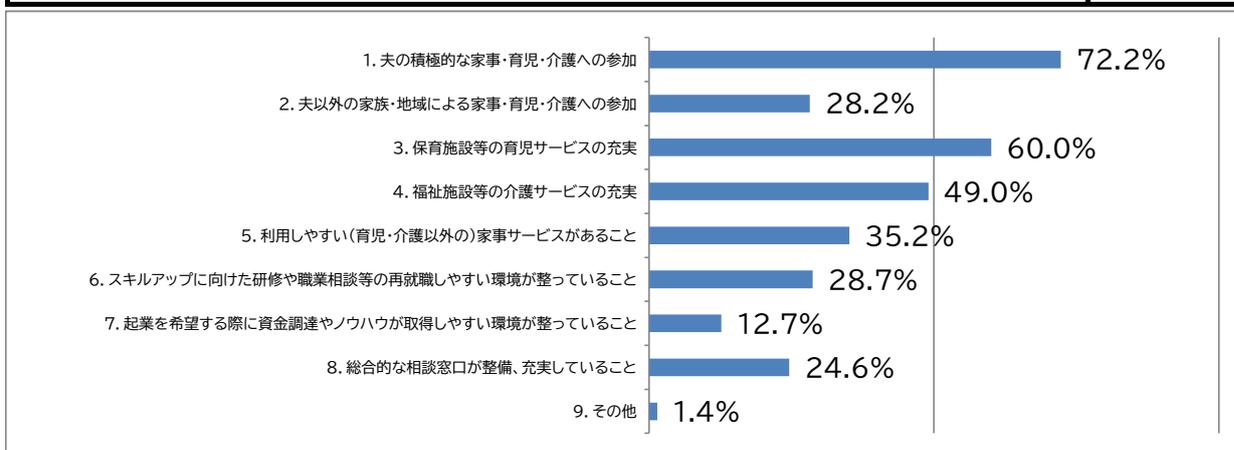
1. 経営者が女性の活躍の促進に積極的であること	149
2. 職場の上司・同僚が、女性が働くことに理解があること	224
3. 育児・介護との両立について職場の支援制度が整っていること	302
4. 長時間労働の必要がないこと、勤務時間が柔軟であること	188
5. 身近に相談できて目標になる女性がいること	72
6. 性別に関係なく仕事が適正に評価されること	230
7. 仕事にやりがいがあること	102
8. その他	12



問8 女性の活躍が進むためには、家族や社会等でどのような環境整備が必要と思いますか。(〇はいくつでも)

・「夫の積極的な家事・育児・介護への参加」が72.2%と最も高く、続いて「保育施設等の育児サービスの充実」が60.0%、「福祉施設等の介護サービスの充実」が49.0%と続いています。

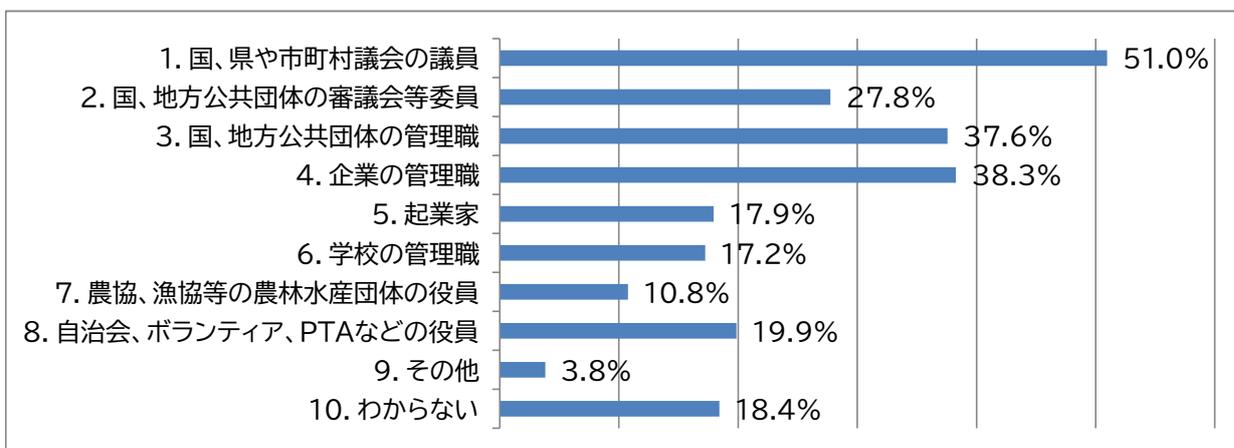
1. 夫の積極的な家事・育児・介護への参加	302
2. 夫以外の家族・地域による家事・育児・介護への参加	118
3. 保育施設等の育児サービスの充実	251
4. 福祉施設等の介護サービスの充実	205
5. 利用しやすい(育児・介護以外の)家事サービスがあること	147
6. スキルアップに向けた研修や職業相談等の再就職しやすい環境が整っていること	120
7. 起業を希望する際に資金調達やノウハウが取得しやすい環境が整っていること	53
8. 総合的な相談窓口が整備、充実していること	103
9. その他	6



問9 あなたは、今後どのような分野で女性の参画が進むべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

・「国、県や市町村議会の議員」が51.0%、「企業管理職」が38.3%、「国、地方公共団体の管理職」37.6%がとなっています。

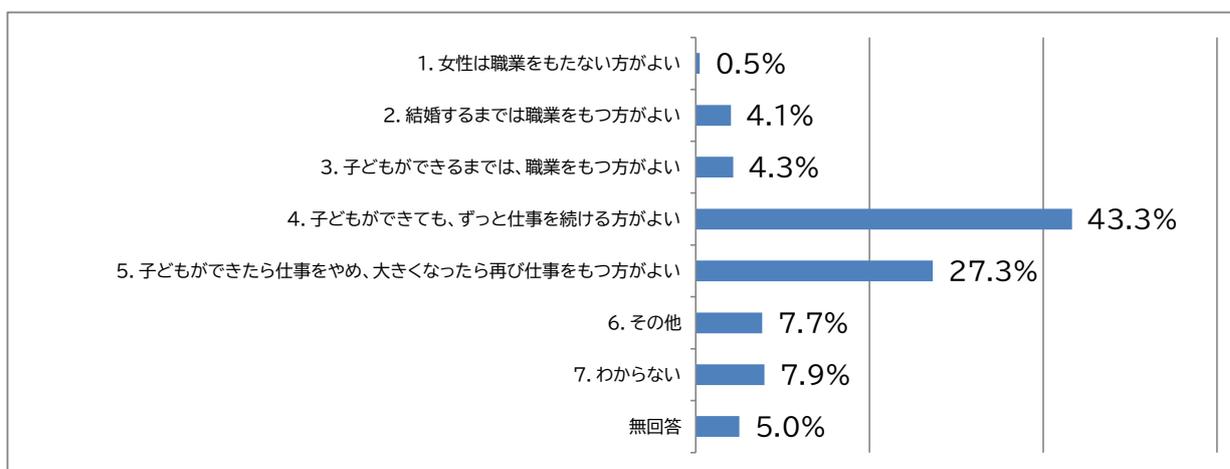
1. 国、県や市町村議会の議員	213
2. 国、地方公共団体の審議会等委員	116
3. 国、地方公共団体の管理職	157
4. 企業の管理職	160
5. 起業家	75
6. 学校の管理職	72
7. 農協、漁協等の農林水産団体の役員	45
8. 自治会、ボランティア、PTAなどの役員	83
9. その他	16
10. わからない	77



問10 女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思いますか。(〇はひとつだけ)

・「子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい」が43.3%と最も高い一方で「女性は職業をもたない方がよい」0.5%や「結婚するまでは職業をもつ方がよい」4.1%と低いです。

1. 女性は職業をもたない方がよい	2
2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい	17
3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	18
4. 子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい	181
5. 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい	114
6. その他	32
7. わからない	33
無回答	21

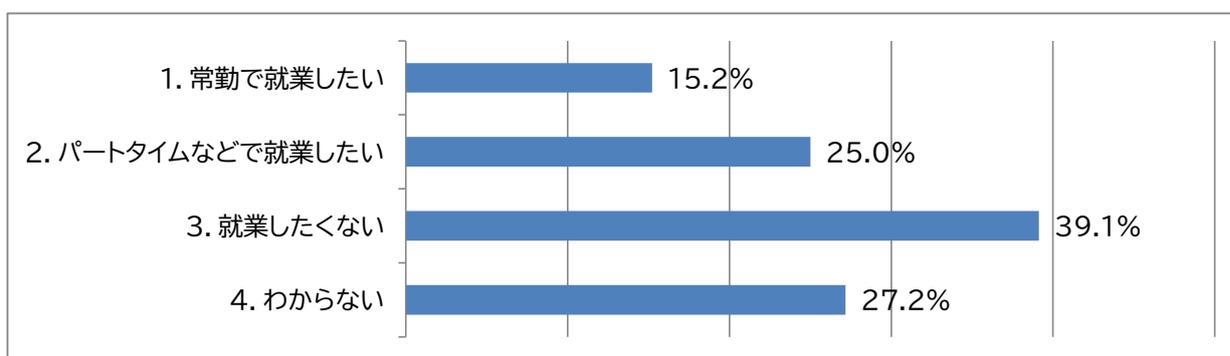


就業していない女性の方だけにおたずねします。

問11 今後就業したいと思いますか。(〇はひとつだけ)

・「就業したくない」が39.1%となっています(「就業したくない」と回答した人の83.3%が60歳以上の女性)。一方で、「就業したい」と思っている女性が、40.2%いることがわかります。

1. 常勤で就業したい	14
2. パートタイムなどで就業したい	23
3. 就業したくない	36
4. わからない	25



結婚している方におたずねします。

問12 あなたの家庭では、次のような家事などを、主に誰が行っていますか。

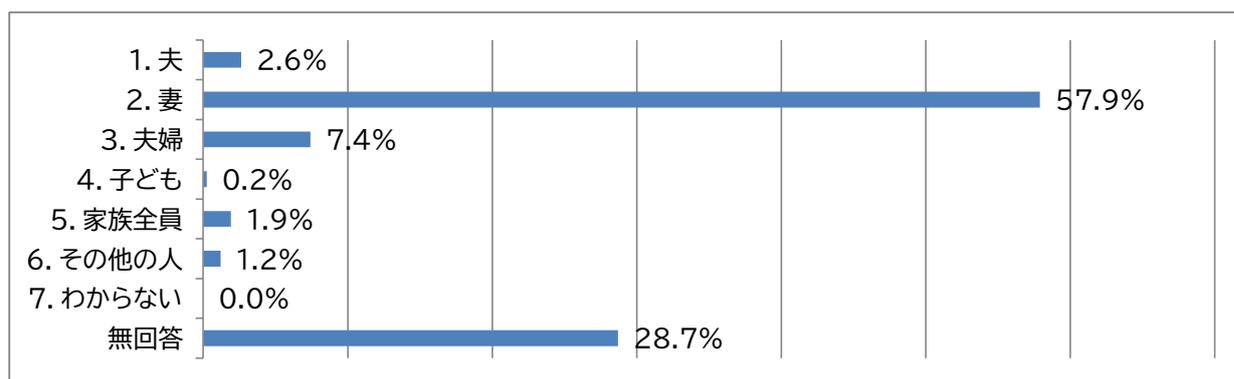
アからキの各項目について、1から6の中で、ひとつ選んでください。

アからキのうち当てはまらないものについては記入する必要はありません。

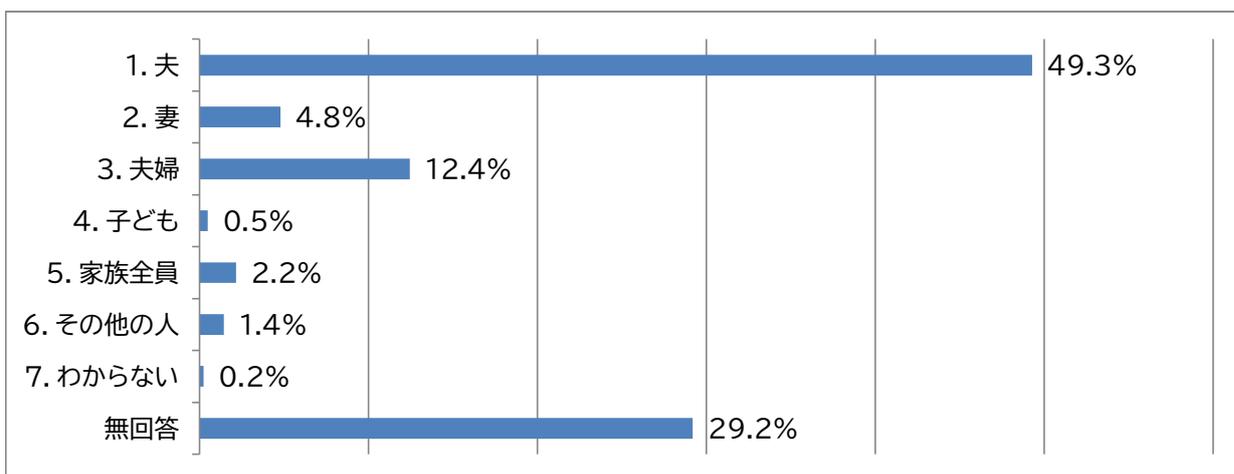
・「食後の後片づけ、食器洗い」49.3%、「買い物」41.6%、「ごみ出し」28.7%は男性の家事参加が進んでいます。

・「夫婦」で行っている家事について、「買い物」21.1%、「町内行事等への参加」20.6%、「掃除」19.1%、「育児全般」17.5%と続いています。

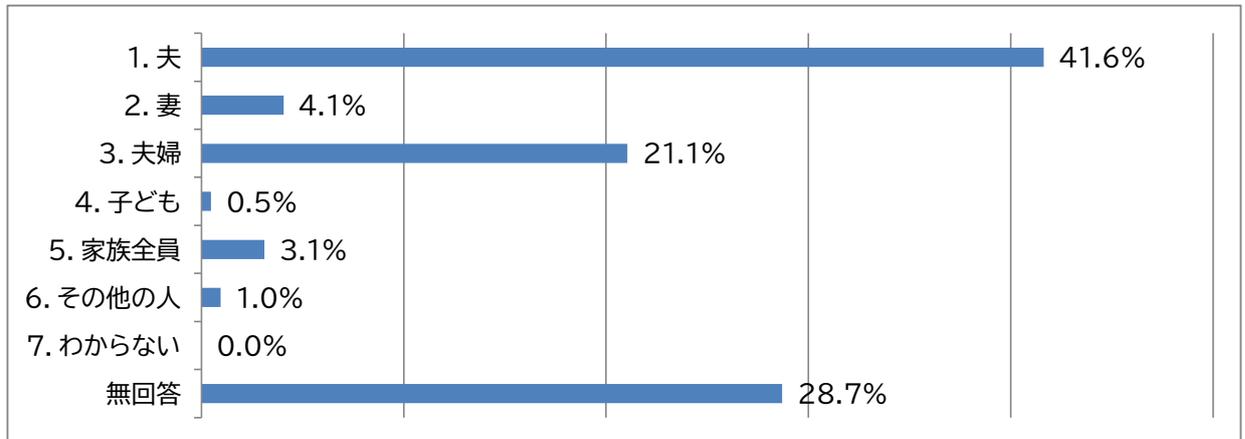
ア 食事の準備	
1. 夫	11
2. 妻	242
3. 夫婦	31
4. 子ども	1
5. 家族全員	8
6. その他の人	5
7. わからない	0
無回答	120



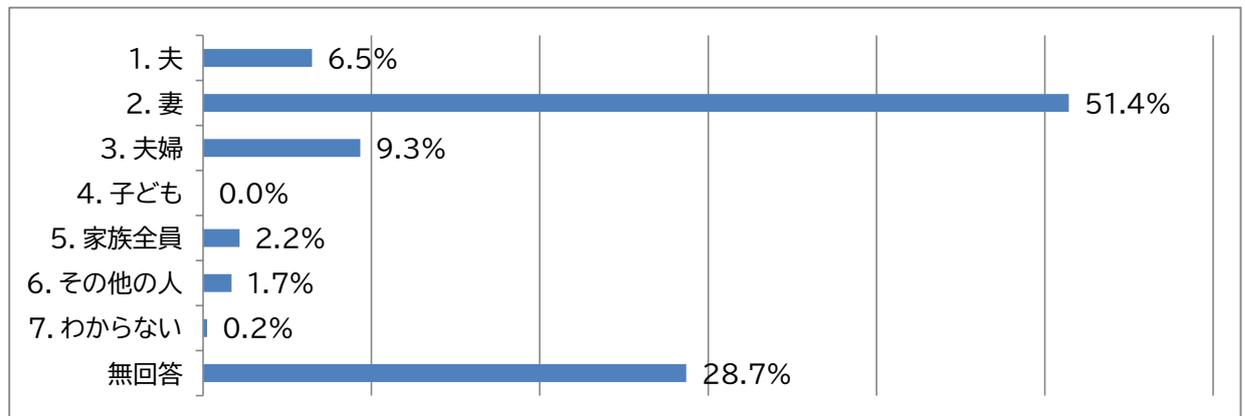
イ 食事の後片づけ、食器洗い	
1. 夫	206
2. 妻	20
3. 夫婦	52
4. 子ども	2
5. 家族全員	9
6. その他の人	6
7. わからない	1
無回答	122



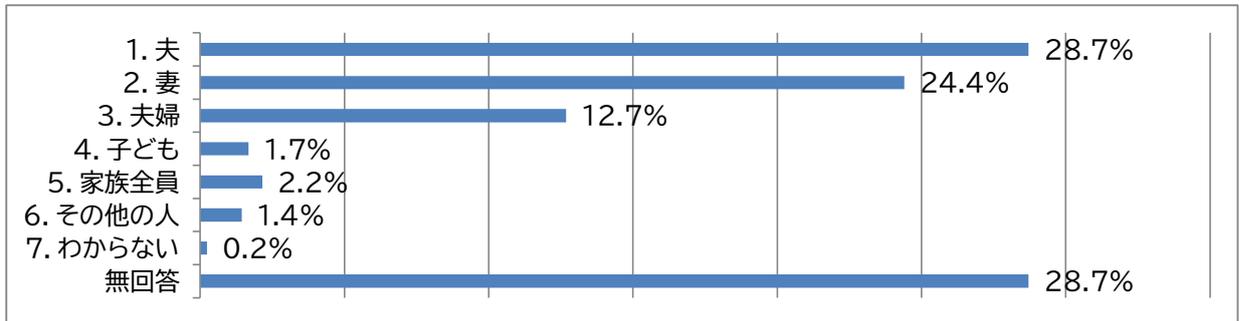
ウ 買い物	
1.夫	174
2.妻	17
3.夫婦	88
4.子ども	2
5.家族全員	13
6.その他の人	4
7.わからない	0
無回答	120



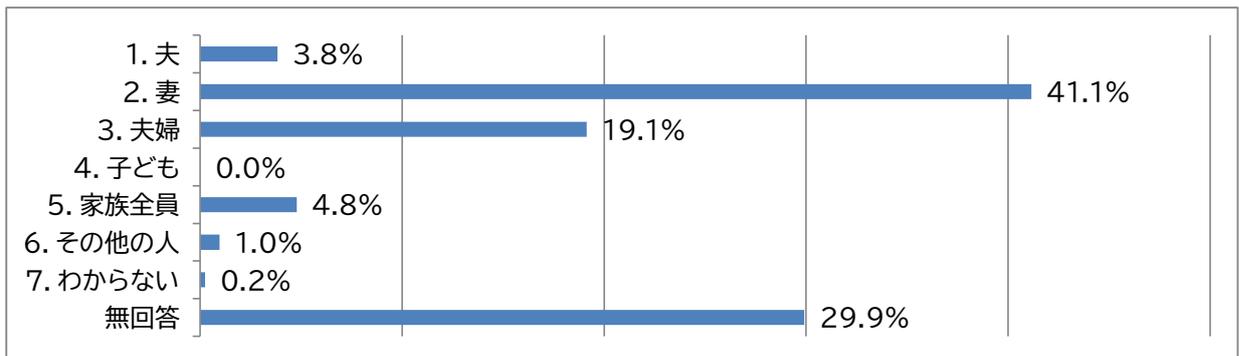
エ 洗濯	
1.夫	27
2.妻	215
3.夫婦	39
4.子ども	0
5.家族全員	9
6.その他の人	7
7.わからない	1
無回答	120



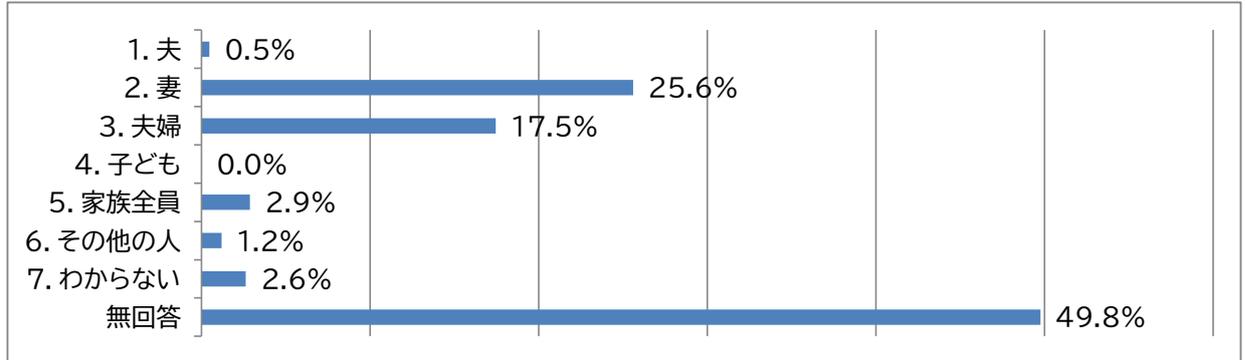
オ ごみ出し	
1. 夫	120
2. 妻	102
3. 夫婦	53
4. 子ども	7
5. 家族全員	9
6. その他の人	6
7. わからない	1
無回答	120



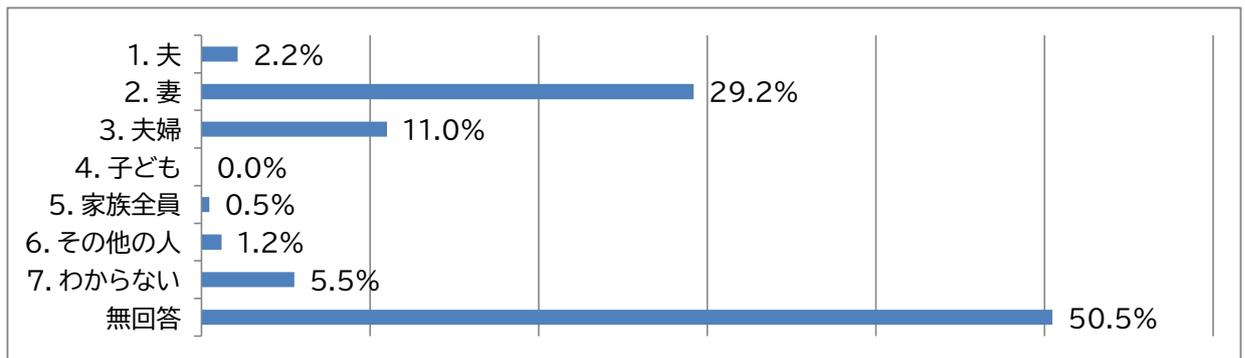
カ 掃除	
1. 夫	16
2. 妻	172
3. 夫婦	80
4. 子ども	0
5. 家族全員	20
6. その他の人	4
7. わからない	1
無回答	125



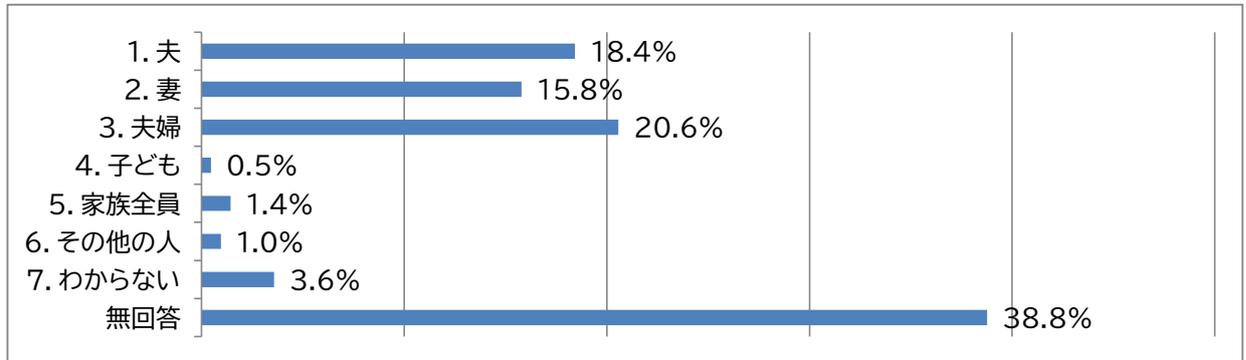
キ 育児全般	
1. 夫	2
2. 妻	107
3. 夫婦	73
4. 子ども	0
5. 家族全員	12
6. その他の人	5
7. わからない	11
無回答	208



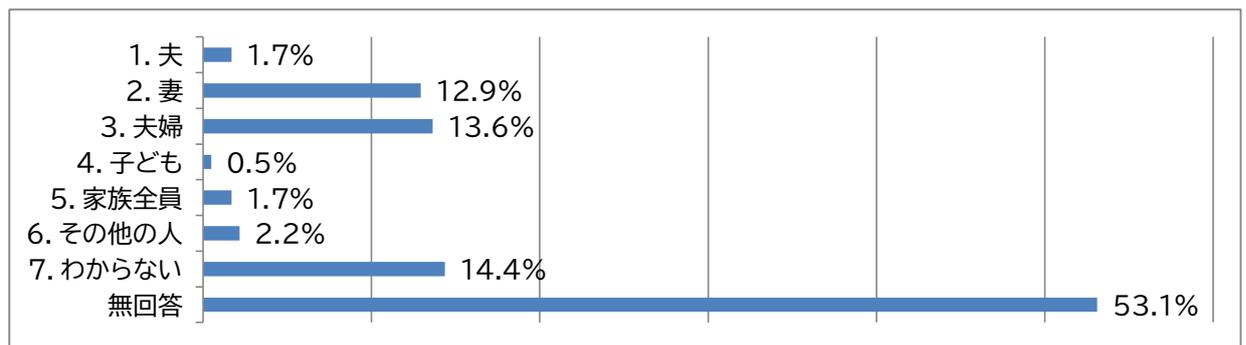
ク PTA、学校行事等への参加	
1. 夫	9
2. 妻	122
3. 夫婦	46
4. 子ども	0
5. 家族全員	2
6. その他の人	5
7. わからない	23
無回答	211



ケ 町内行事等への参加	
1. 夫	77
2. 妻	66
3. 夫婦	86
4. 子ども	2
5. 家族全員	6
6. その他の人	4
7. わからない	15
無回答	162



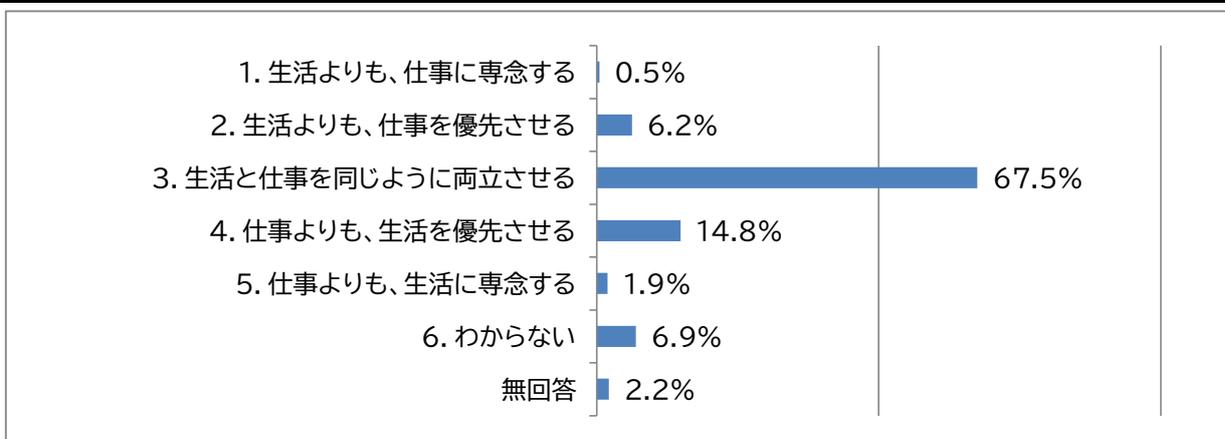
コ 高齢者の介護等	
1. 夫	7
2. 妻	54
3. 夫婦	57
4. 子ども	2
5. 家族全員	7
6. その他の人	9
7. わからない	60
無回答	222



問13 仕事との関係において、生活(家庭生活や地域活動等)をどのように位置づけるのが望ましいと思いますか。(〇はひとつだけ)

・「生活と仕事を同じように両立させる」が67.5%に次いで「仕事よりも、生活を優先させる」が14.8%と続いています。

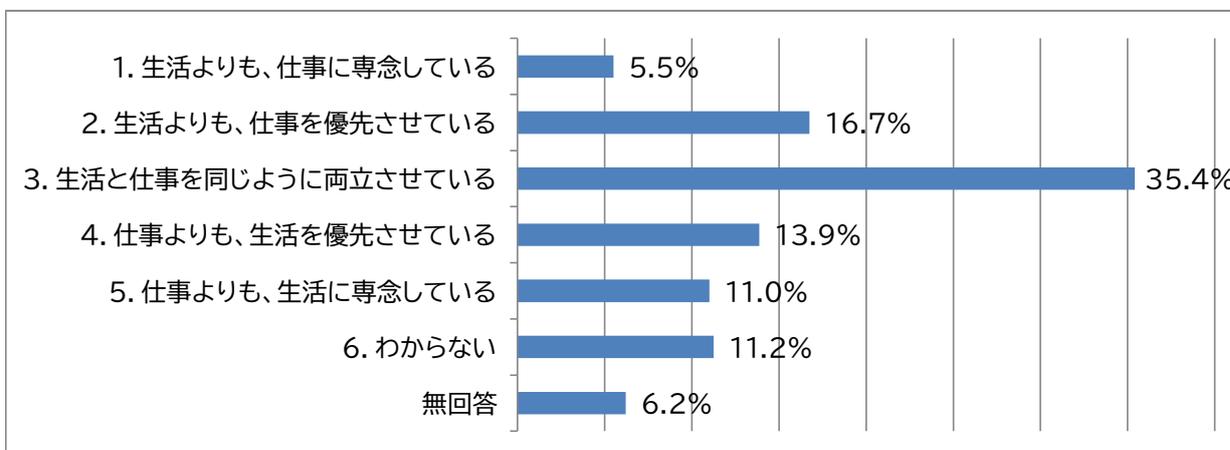
1. 生活よりも、仕事に専念する	2
2. 生活よりも、仕事を優先させる	26
3. 生活と仕事を同じように両立させる	282
4. 仕事よりも、生活を優先させる	62
5. 仕事よりも、生活に専念する	8
6. わからない	29
無回答	9



問14 現在の状況では、あなたは次のどれに当てはまりますか。(〇はひとつだけ)

・「生活と仕事を同じように両立させている」が35.4%に次いで「生活よりも、仕事を優先させている」が16.7%と続いています。

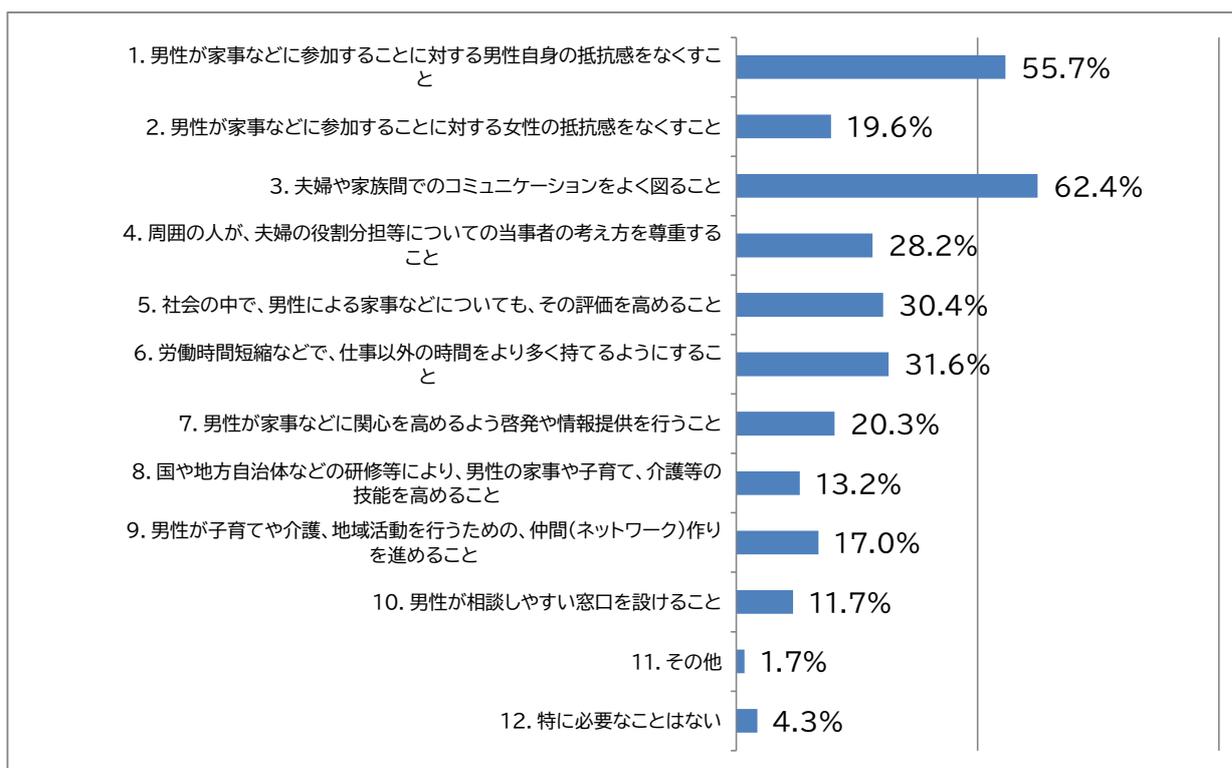
1. 生活よりも、仕事に専念している	23
2. 生活よりも、仕事を優先させている	70
3. 生活と仕事を同じように両立させている	148
4. 仕事よりも、生活を優先させている	58
5. 仕事よりも、生活に専念している	46
6. わからない	47
無回答	26



問15 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

・「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること」が62.4%と最も高く、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が55.7%と続いています。

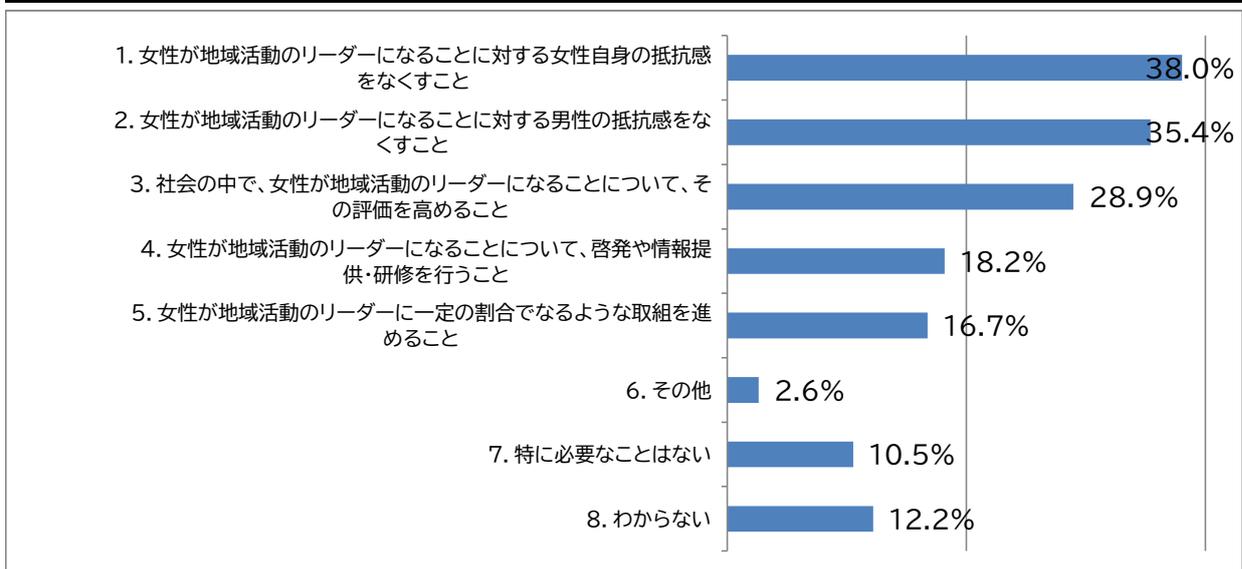
1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	233
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	82
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること	261
4. 周囲の人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	118
5. 社会の中で、男性による家事などについても、その評価を高めること	127
6. 労働時間短縮などで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	132
7. 男性が家事などに関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと	85
8. 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること	55
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)作りを進めること	71
10. 男性が相談しやすい窓口を設けること	49
11. その他	7
12. 特に必要なことはない	18



問16 自治会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

・「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと」が38.0%と最も高く、「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」が35.4%と続いています。

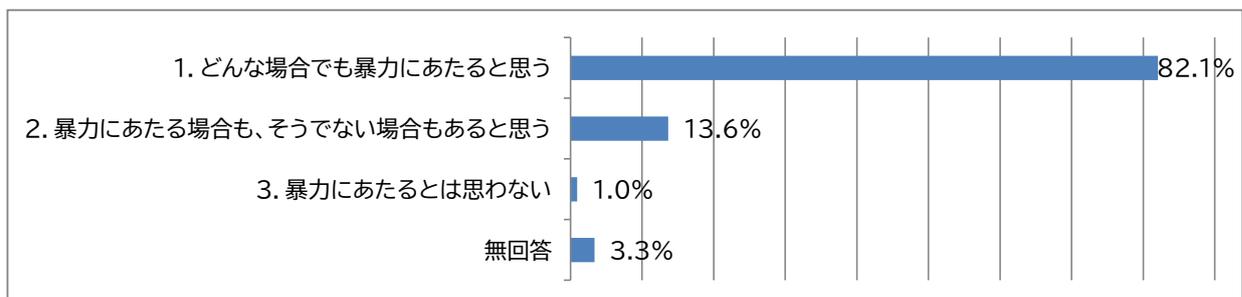
1. 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと	159
2. 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと	148
3. 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること	121
4. 女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと	76
5. 女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること	70
6. その他	11
7. 特に必要なことはない	44
8. わからない	51



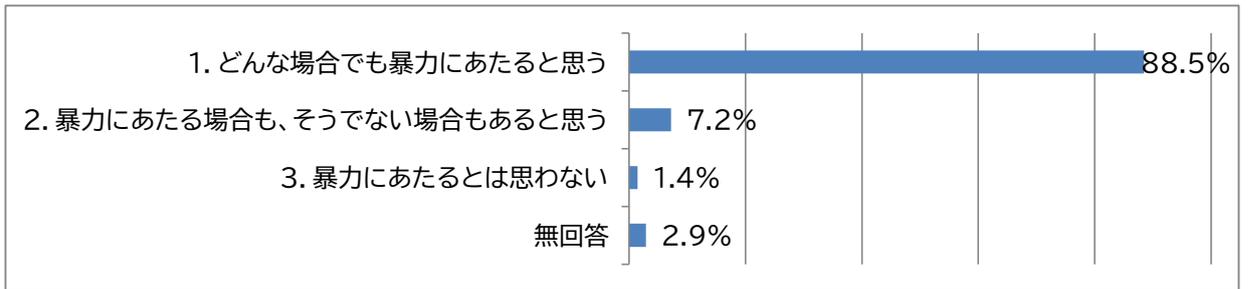
問17 あなたは、次のようなことが男女間(夫婦・交際相手)で行われた場合、それを暴力だと思いますか。AからLの各項目について、1から3のうちあなたの考えに近い番号に〇をつけてください。(〇はそれぞれひとつずつ)

・A～L全ての項目で「どんな場合でも暴力にあたると思う」が最も高いです。

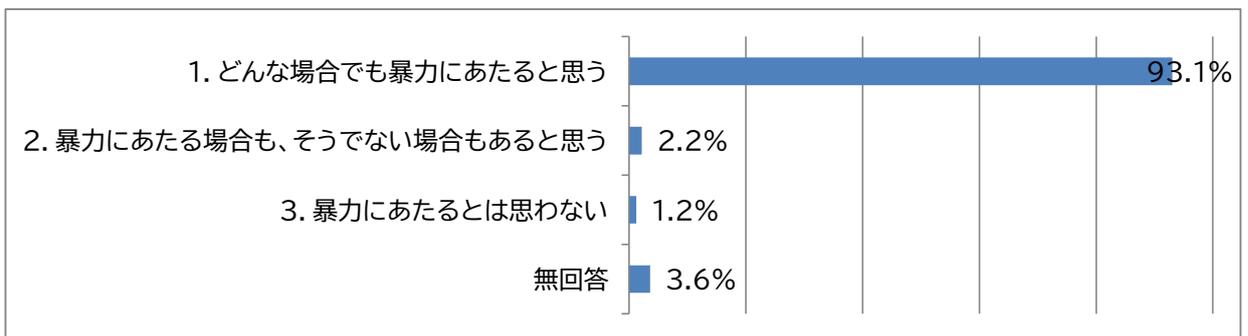
A 平手でうつ	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	343
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	57
3. 暴力にあたるとは思わない	4
無回答	14



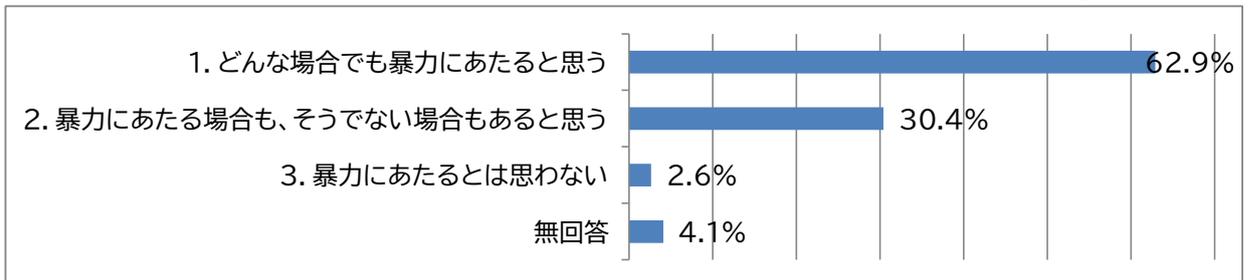
B 足でける	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	370
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	30
3. 暴力にあたるとは思わない	6
無回答	12



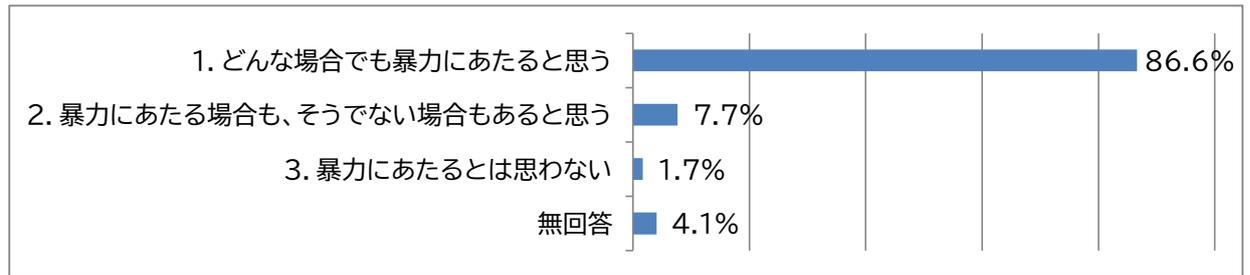
C 身体を傷つける可能性のある物でなぐる	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	389
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	9
3. 暴力にあたるとは思わない	5
無回答	15



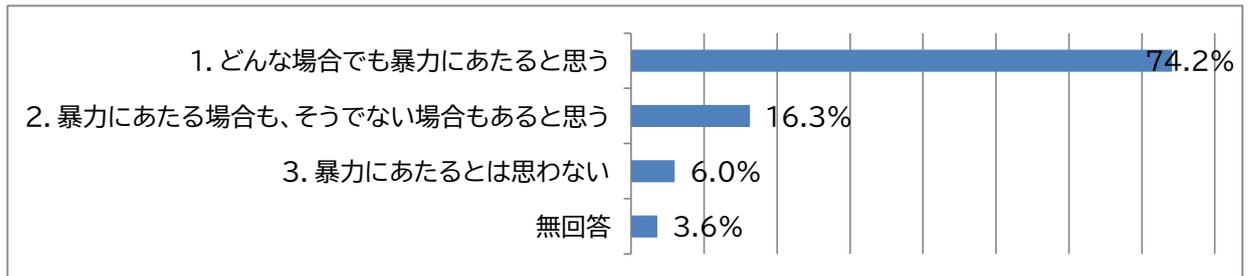
D なぐるふりをして、おどす	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	263
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	127
3. 暴力にあたるとは思わない	11
無回答	17



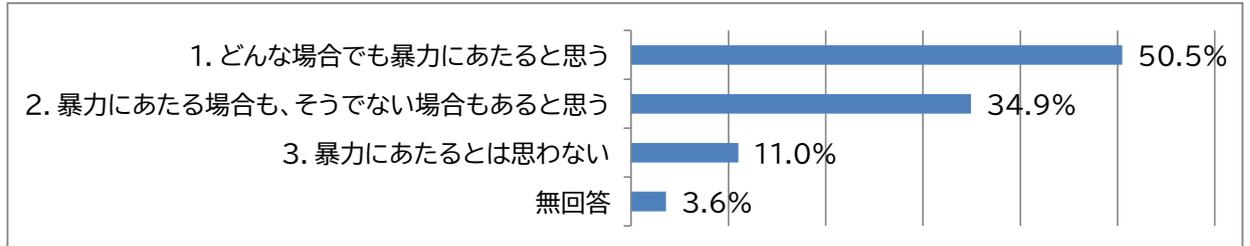
E 刃物などを突きつけて、おどす	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	362
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	32
3. 暴力にあたるとは思わない	7
無回答	17



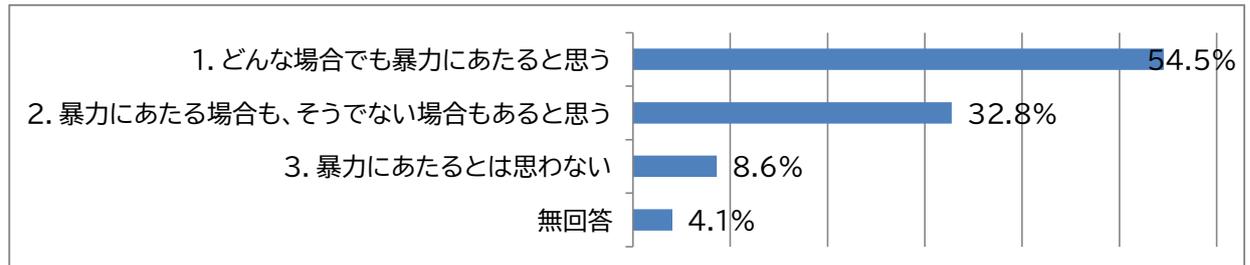
F いやがっているのに性的な行為を強要する	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	310
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	68
3. 暴力にあたるとは思わない	25
無回答	15



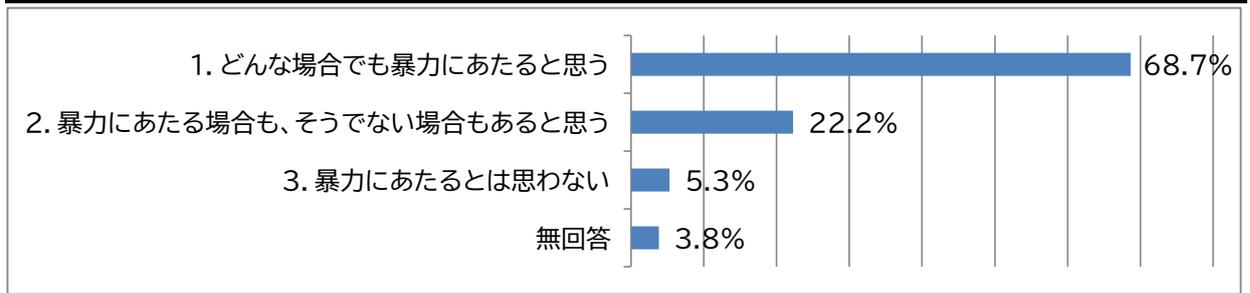
G 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	211
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	146
3. 暴力にあたるとは思わない	46
無回答	15



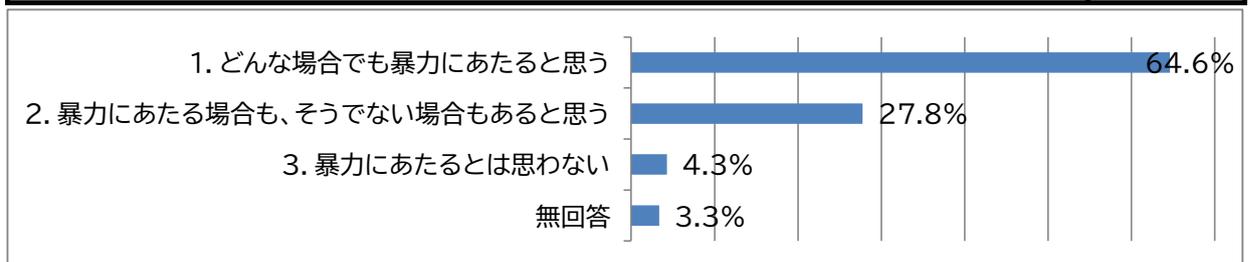
H 何を言っても長時間無視し続ける	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	228
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	137
3. 暴力にあたるとは思わない	36
無回答	17



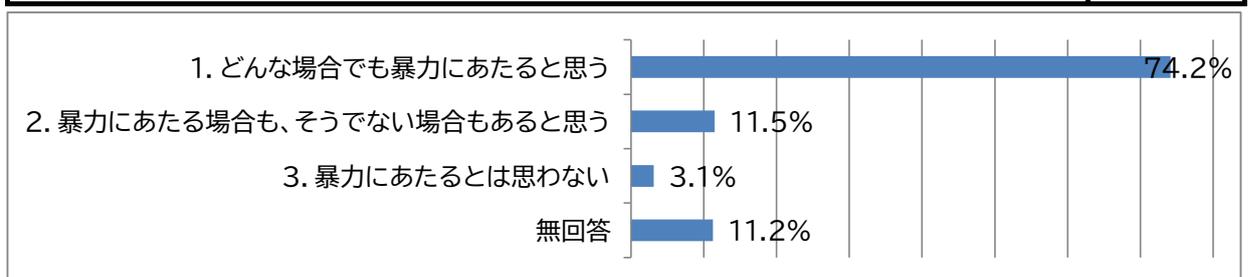
I 交友関係や電話・メールを細かく監視する	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	287
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	93
3. 暴力にあたるとは思わない	22
無回答	16



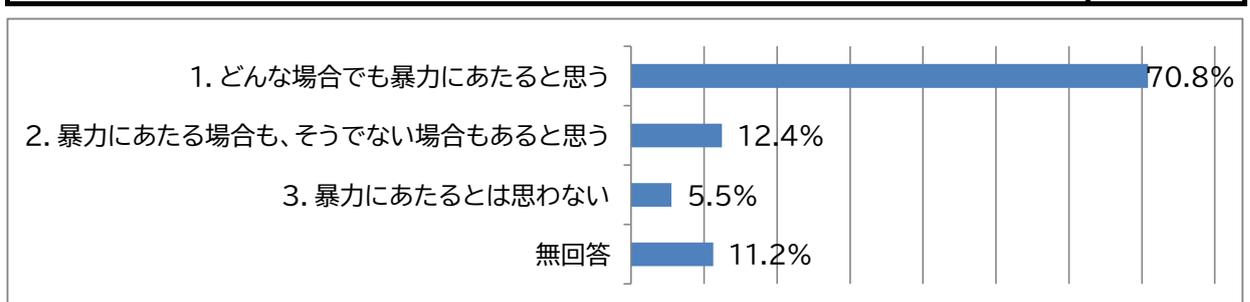
J 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしようなし」と言う	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	270
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	116
3. 暴力にあたるとは思わない	18
無回答	14



K 大声でどなる	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	310
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	48
3. 暴力にあたるとは思わない	13
無回答	47



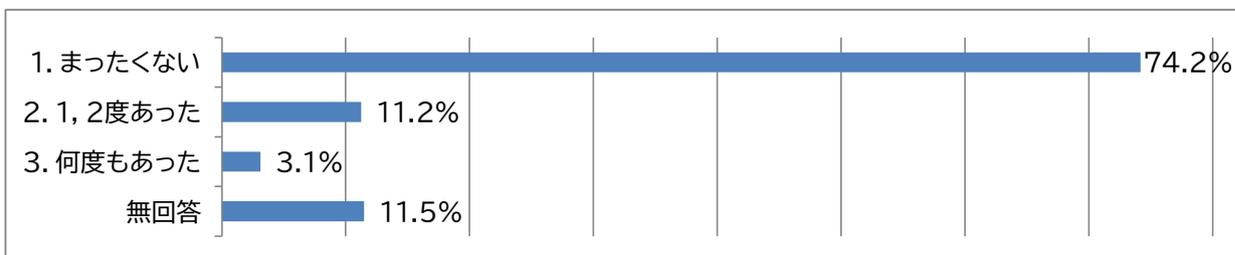
L 生活費を渡さない(諸々の費用を負担しない)	
1. どんな場合でも暴力にあたると思う	296
2. 暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	52
3. 暴力にあたるとは思わない	23
無回答	47



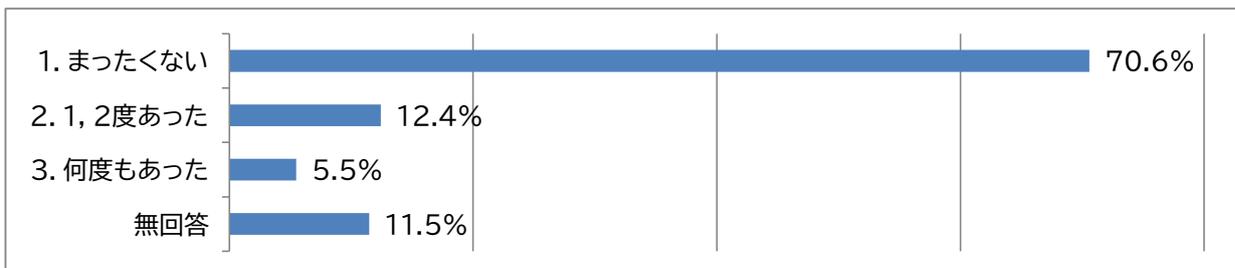
問18 あなたはこれまでに、配偶者または交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。AからCのそれぞれについて、1、2、3のあてはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつずつ)

・A～Cの各項目において、それぞれ同等の割合で、「まったくない」「1、2度あった」「何度もあった」の順に割合が高いです。

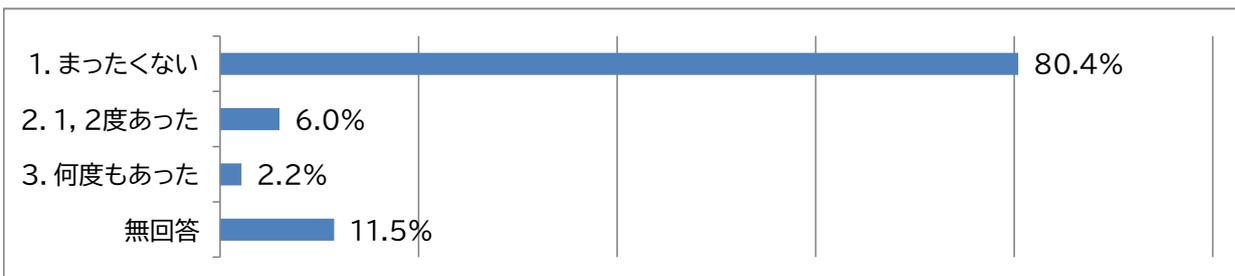
A 身体的暴行(例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	
1.まったくない	310
2.1, 2度あった	47
3. 何度もあった	13
無回答	48



B 心理的攻撃(例えば、人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危険が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	
1.まったくない	295
2.1, 2度あった	52
3. 何度もあった	23
無回答	48



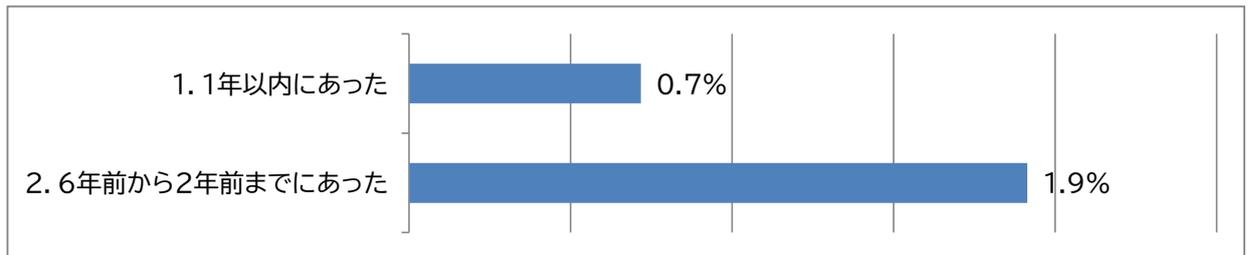
C 性的強要(例えば、いやがっているのに性的な行為を強要されるなど)	
1.まったくない	336
2.1, 2度あった	25
3. 何度もあった	9
無回答	48



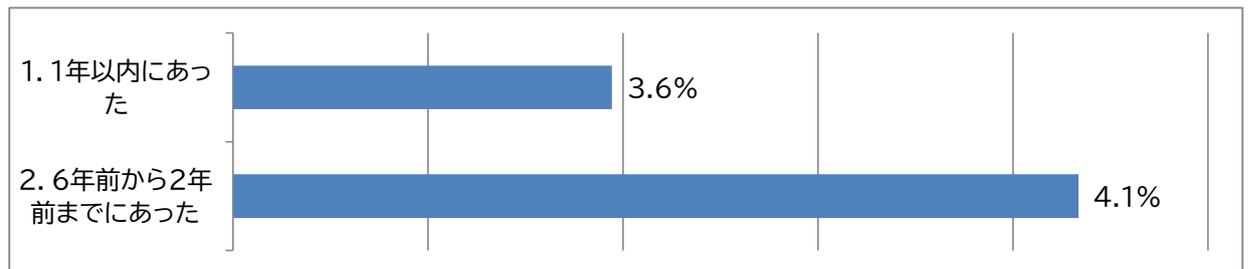
問19 問18で、A、B、Cのうちひとつでも、これまでに「1、2度あった」、「何度もあった」と答えた方にお聞きします。配偶者または交際相手から、問18に該当することをされた時期について、お答えください。(〇はいくつでも)

・A～Cの全ての項目の中で、「B 心理的攻撃」を受けたことがある人の割合が最も高いです。

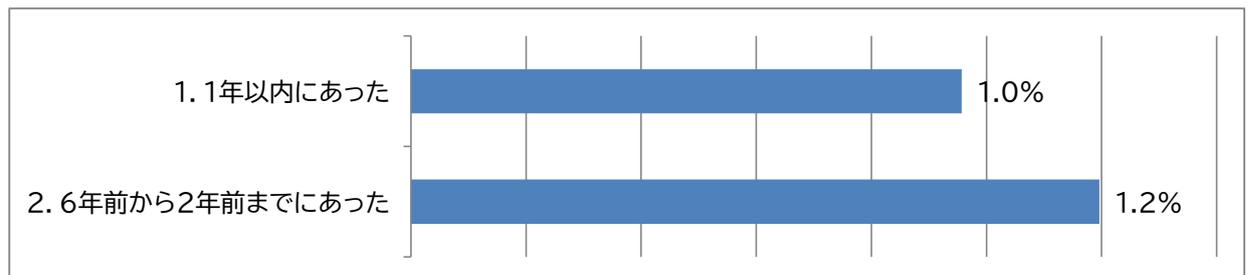
A 身体的暴行(例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	
1. 1年以内にあった	3
2. 6年前から2年前までにあった	8
3. 6年以内にはなかった	63
無回答	344



B 心理的攻撃(例えば、人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	
1. 1年以内にあった	15
2. 6年前から2年前までにあった	17
3. 6年以内にはなかった	52
無回答	334



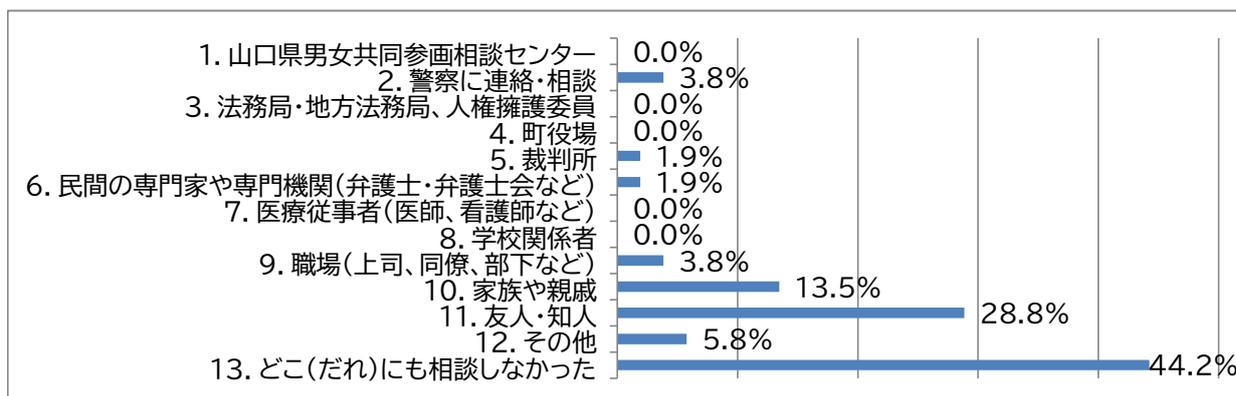
C 性的強要(例えば、いやがっているのに性的な行為を強要されるなど)	
1. 1年以内にあった	4
2. 6年前から2年前までにあった	5
3. 6年以内にはなかった	44
無回答	365



問20 問19で、A、B、Cのうちひとつでも、「1年以内にあった」、「6年前から2年前までにあった」と答えた方にお聞きします。あなたは6年以内に、配偶者または交際相手から受けたそのような行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

・「どこ(誰)にも相談しなかった」が44.2%と最も高く、「友人・知人に相談した」が28.8%、「家族や親戚に相談した」が13.5%と続いています。

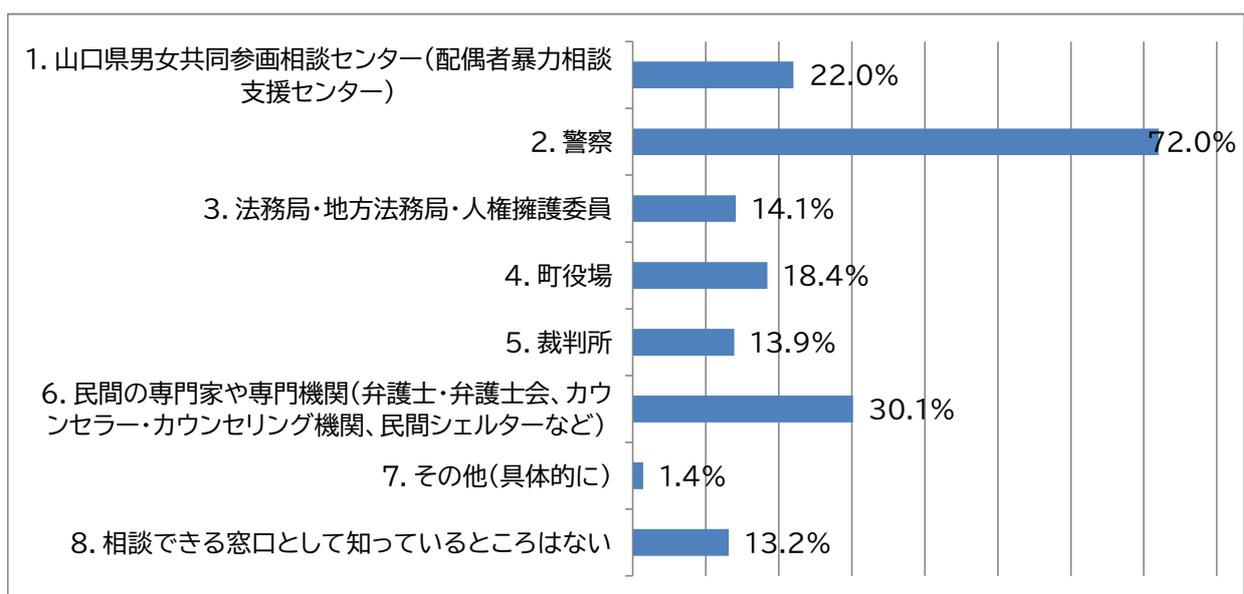
1. 山口県男女共同参画相談センター	0
2. 警察に連絡・相談	2
3. 法務局・地方法務局、人権擁護委員	0
4. 町役場	0
5. 裁判所	1
6. 民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会など)	1
7. 医療従事者(医師、看護師など)	0
8. 学校関係者	0
9. 職場(上司、同僚、部下など)	2
10. 家族や親戚	7
11. 友人・知人	15
12. その他	3
13. どこ(だれ)にも相談しなかった	23



問21 あなたは、配偶者や交際相手等からの暴力について、相談できる窓口があることを知っていますか。次の中から、知っているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

・「警察」が72.0%と相談できる窓口としての認知度が高く、「民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)」が30.1%、「山口県男女共同参画相談センター(配偶者暴力相談支援センター)」が22.0%と続いています。

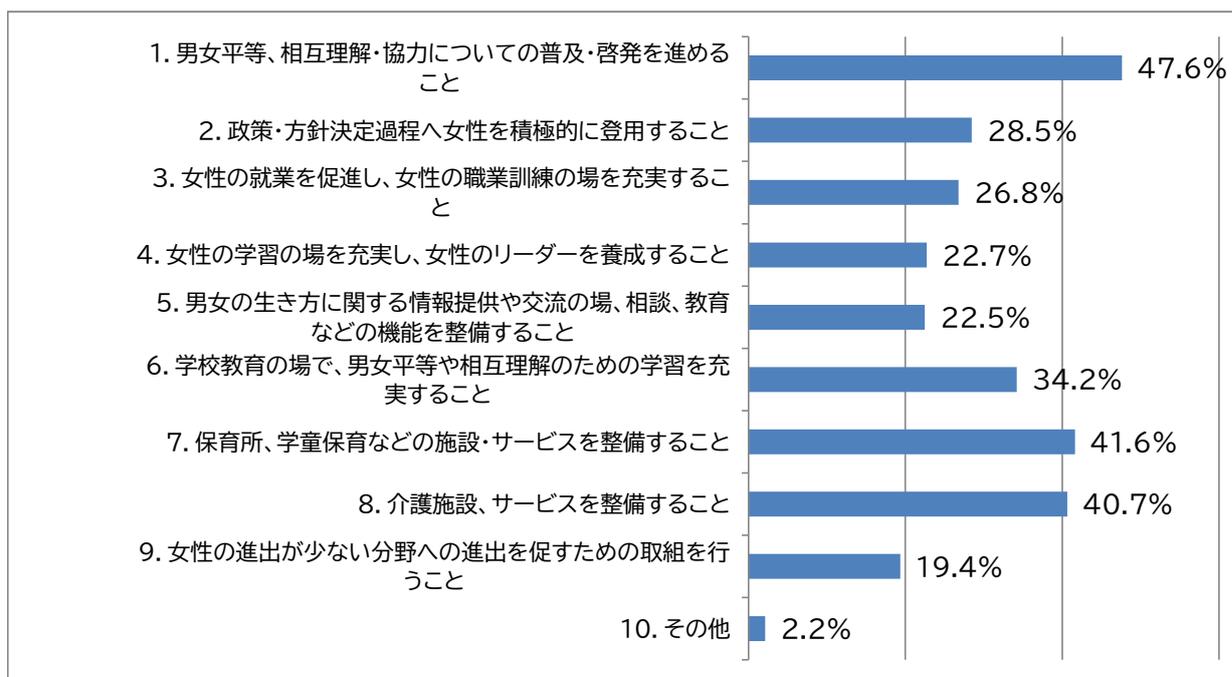
1. 山口県男女共同参画相談センター(配偶者暴力相談支援センター)	92
2. 警察	301
3. 法務局・地方法務局・人権擁護委員	59
4. 町役場	77
5. 裁判所	58
6. 民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)	126
7. その他(具体的に)	6
8. 相談できる窓口として知っているところはない	55



問22 「男女共同参画社会」を形成していくため、今後、行政に対して、特に進めて欲しいと思われる施策に○をつけてください。(○はいくつでも)

・「男女平等、相互理解・協力についての普及・啓発を進めること」の47.6%に次いで「保育所、学童保育などの施設・サービスを整備すること」の41.6%、「介護施設、サービスを整備すること」40.7%と続いています。

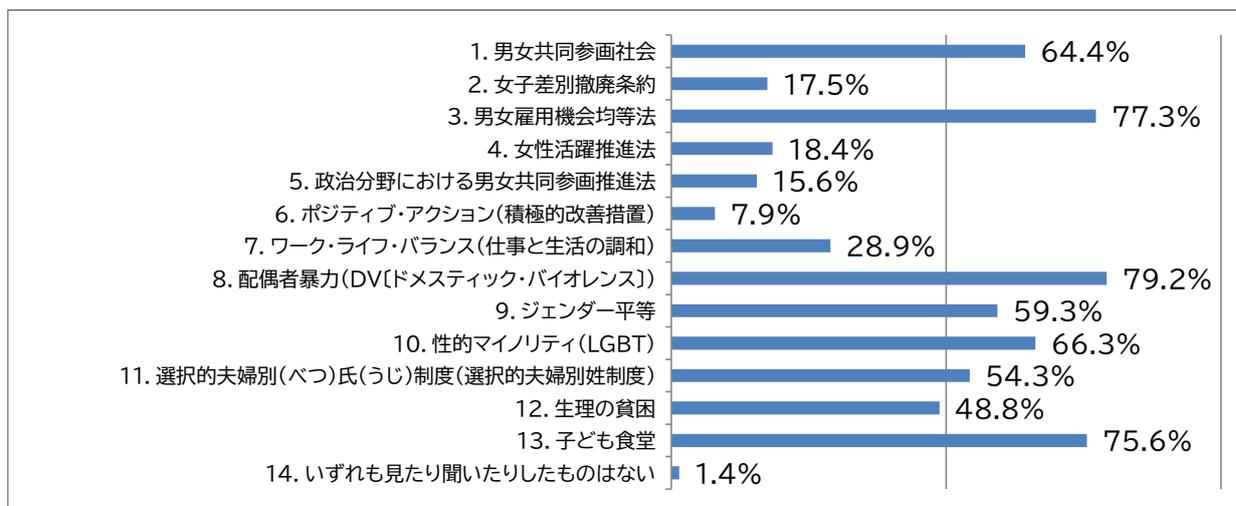
1. 男女平等、相互理解・協力についての普及・啓発を進めること	199
2. 政策・方針決定過程へ女性を積極的に登用すること	119
3. 女性の就業を促進し、女性の職業訓練の場を充実すること	112
4. 女性の学習の場を充実し、女性のリーダーを養成すること	95
5. 男女の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの機能を整備すること	94
6. 学校教育の場で、男女平等や相互理解のための学習を充実すること	143
7. 保育所、学童保育などの施設・サービスを整備すること	174
8. 介護施設、サービスを整備すること	170
9. 女性の進出が少ない分野への進出を促すための取組を行うこと	81
10. その他	9



問23 次の用語のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを全て教えてください。(〇はいいくつでも)

・「配偶者暴力」79.2%、「男女雇用機会均等法」77.3%、「子ども食堂」75.6%、「性的マイノリティ(LGBT)」66.3%、「男女共同参画社会」64.4%、「ジェンダー平等」59.3%、「選択的夫婦別姓度」54.3%の7項目においては、半数以上の人が見たり聞いたりしたことがあります。

1. 男女共同参画社会	269
2. 女子差別撤廃条約	73
3. 男女雇用機会均等法	323
4. 女性活躍推進法	77
5. 政治分野における男女共同参画推進法	65
6. ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	33
7. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	121
8. 配偶者暴力(DV[ドメスティック・バイオレンス])	331
9. ジェンダー平等	248
10. 性的マイノリティ(LGBT)	277
11. 選択的夫婦別(べつ)氏(うじ)制度(選択的夫婦別姓制度)	227
12. 生理の貧困	204
13. 子ども食堂	316
14. いずれも見たり聞いたりしたものはなし	6



問24 男女共同参画社会の実現に向け、ご意見・ご要望(実際に、困っていることなど)がありましたら、ご自由にご記入ください。

(主な意見)

女性の積極性も必要 (50代後半・男性)
とても良いことだと思います。ちなみに最新の科学は、性は男性・女性とはっきり2つに分けられるのではなく、男性と女性の間が繋がったグラデーションのようになっているということが分かってきています。これからは男性・女性ではなく性の多様性の時代。男女の枠に縛られることなく人間としての真価が問われる時代がやってくると思います。(50代前半・女性)
「広報ひらお」で男女共同参画に関する情報を継続的に掲載して幅広い世代が関心を持てるようにしてほしいと思います。(60代前半・女性)
男女共同参画等の担当者、事務局は何処にあるか。(70代後半・男性)
「男女共同参画社会」の実現に向け、社会全体もよりよい方向に成長していくことも大切と同じくらいに、一人ひとりが自分のこととしてしっかり考え、少し勇気を出して歩むことも必要と思います。(60代後半・女性)
幼少期から性別で行動や思考を決めつけない教育は必要だと思います。(50代後半・女性)
山口県出身からみると、全国の中でも地域格差はあるように思えます。特に山口県は昔から男尊女卑が強い地域で以前よりは格差が少なくなったが、法の整備等課題は多く、地域に訴えかけて参画社会を実現できれば。(50代前半・男性)
昔からの考え方など直ちに変わるものではない。長い時間が必要と思う。(80代以上・男性)
子ども教育、未来を担う子ども、高齢者や障害者への問題。食品問題。特に食品ロスなどの問題は女性の意見が特に必要と思います。(60代後半・男性)
サザエさんの時代の考えの人が減ると良い。昔の考えを押し付けられたくない。夫もご飯作り洗濯もする。それを可哀そうと言う姑。そもそも何が可哀そうなのか…。赤ちゃんではない。家の事、子供の事、一緒に仲良くするのは素晴らしいと思う。幸せであって、可哀そうではない。(30代後半・女性)
具体的な意見や相談する窓口ではもちろんプライバシーは守られるが、地元の相談窓口の場合、知り合いだったりして相談しづらいと思われる。匿名での意見を訴える場所が多くあることが望まれる。(町内の意見について同様) (50代後半・女性)
男女共同参画社会を目指し、様々な組織を行うことは素晴らしいと思います。しかし、問16 5の様にリーダーを一定の割合で女性にすることは反対です。能力が無いにもかかわらず、割合を達成するためだけに女性をリーダーにすることは本人のためにも、組織のためにもならないと考えます。(20代前半・男性)
いかにして総合力の発揮をするか。生命力に溢れた有機的な活動が求められる。(80代以上・男性)
役場から積極的に情報発信の方法、行動を工夫すること (60代前半・男性)